

令和6年度
自治基本条例アンケート調査
報告書

令和6年6月実施

江別市 生活環境部 市民生活課 市民協働担当

目 次

調査概要	2
1 調査目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 回収状況.....	2
4 留意点.....	2
回答者属性	3
1 性別【問1】.....	3
2 年代【問2】.....	3
調査結果	4
1 自治基本条例について【問3～問6】.....	4
2 市民参加について【問7～問15】.....	8
3 市民協働について【問16～問23】.....	21
4 情報共有について【問24～問26】.....	41
5 危機管理・防災について【問27】.....	48
6 情報公開・個人情報保護制度について【問28～問30】.....	50
7 自由回答【問31】.....	54
資料（調査票）	64

1 調査目的

「江別市自治基本条例」は、まちづくりの最高規範として、市民に関心を持ち続けていただくとともに、時代の要請や社会情勢の変化に対応するために、施行後4年を超えない期間ごとにこの条例が所期の目的を達成しているかどうかを検討し、必要な場合は、見直しを行うこととしています。

令和6年5月に設置した自治基本条例検討委員会における検討作業に、より多くの市民の意見を反映させるため、自治基本条例や市民参加条例の認知度、まちづくりに対する考え方などについて把握することを目的として、市民1,500人を対象にアンケート調査を実施することとしました。

2 調査概要

(1) 調査対象及び抽出方法

18歳以上から無作為に抽出

(2) 主な調査項目

- ・自治基本条例について
- ・市民参加について
- ・市民協働について
- ・情報共有について
- ・危機管理・防災について
- ・情報公開・個人情報保護制度について

(3) 調査方法

調査票にて回答、オンライン回答

(4) 調査実施期間

令和6年5月27日～令和6年6月21日

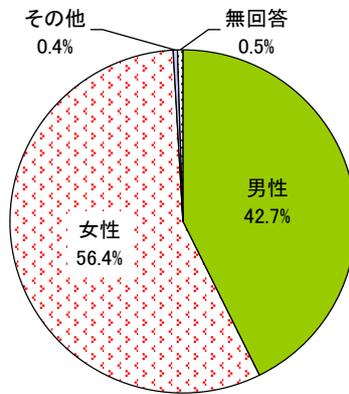
3 回収状況

- ・配布数 1,500件
- ・回収数 553件
- ・回収率 36.9%

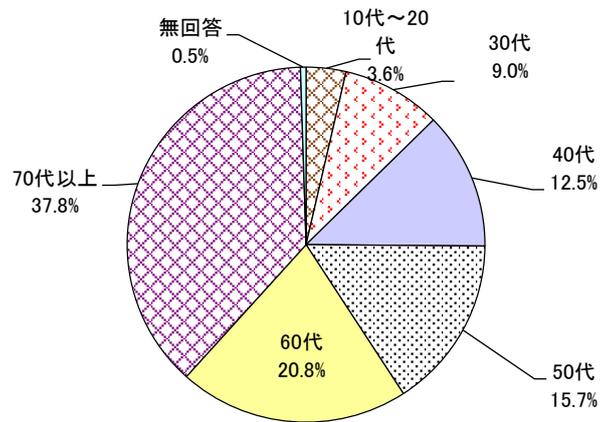
4 留意点

- (1) 図表における構成比は、「無回答」を除いた値を分母としています。
- (2) 図表における構成比は、原則、小数点第2位以下を四捨五入して表示していますので、合計値が100.0%とならない場合があります。
- (3) 報告の順序は、報告のわかりやすさの観点から、調査票の設問順と異なっています。

問1 性別【単数回答】



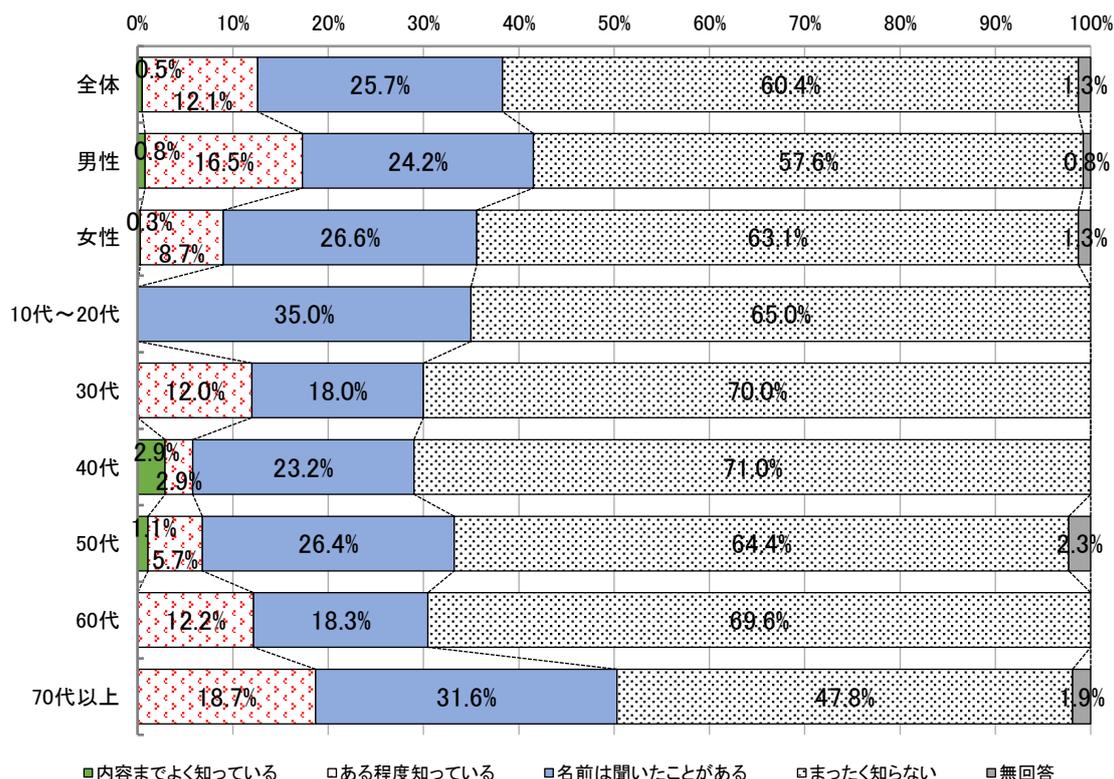
問2 年代【単数回答】



1. 自治基本条例について【問3～問6】

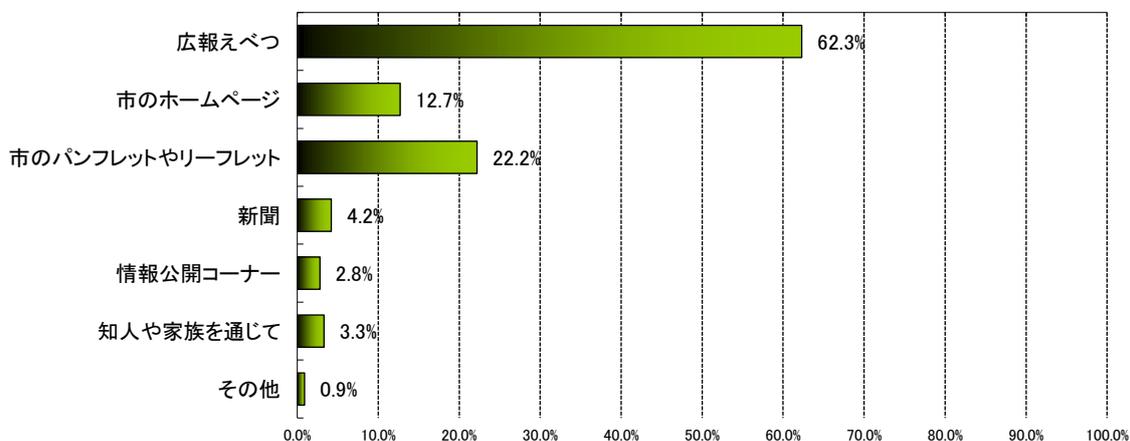
問3. 市民が主役のまちづくりを進めるために、市民の手で作られた、「江別市自治基本条例」を知っていますか。

江別市自治基本条例を「内容までよく知っている」、「ある程度知っている」「名前は聞いたことがある」と回答した割合は全体で38.3%となっており、およそ6割が「まったく知らない」と回答しました。



問4. 「江別市自治基本条例」を何で知りましたか。(複数回答)

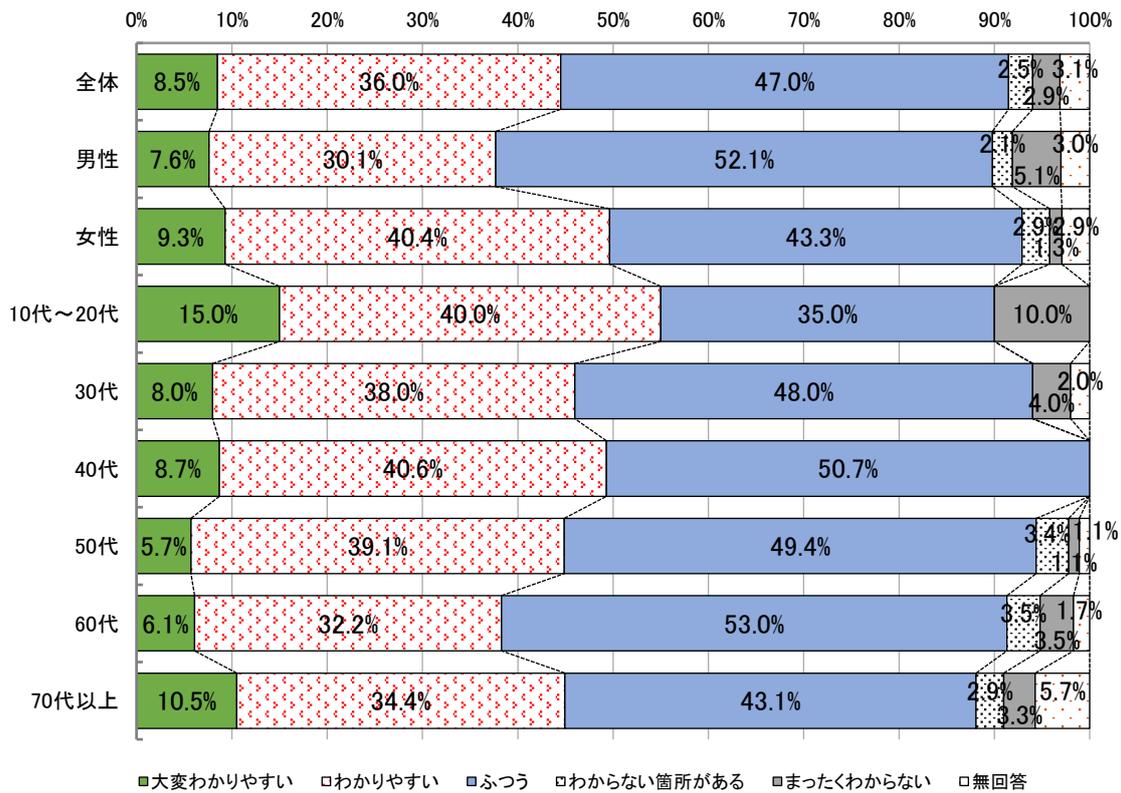
江別市自治基本条例を知ったきっかけは「広報えべつ」が62.3%と最も高く、次に「市のパンフレットやリーフレット」が22.2%、「市のホームページ」が12.7%となりました。



問4 その他
市役所や公共施設の掲示物
覚えていない

問5. 本アンケートに同封した自治基本条例がわかるパンフレット（わたしたちがつくるえべつのもち）は、条例の内容がわかりやすく記載されていましたか。

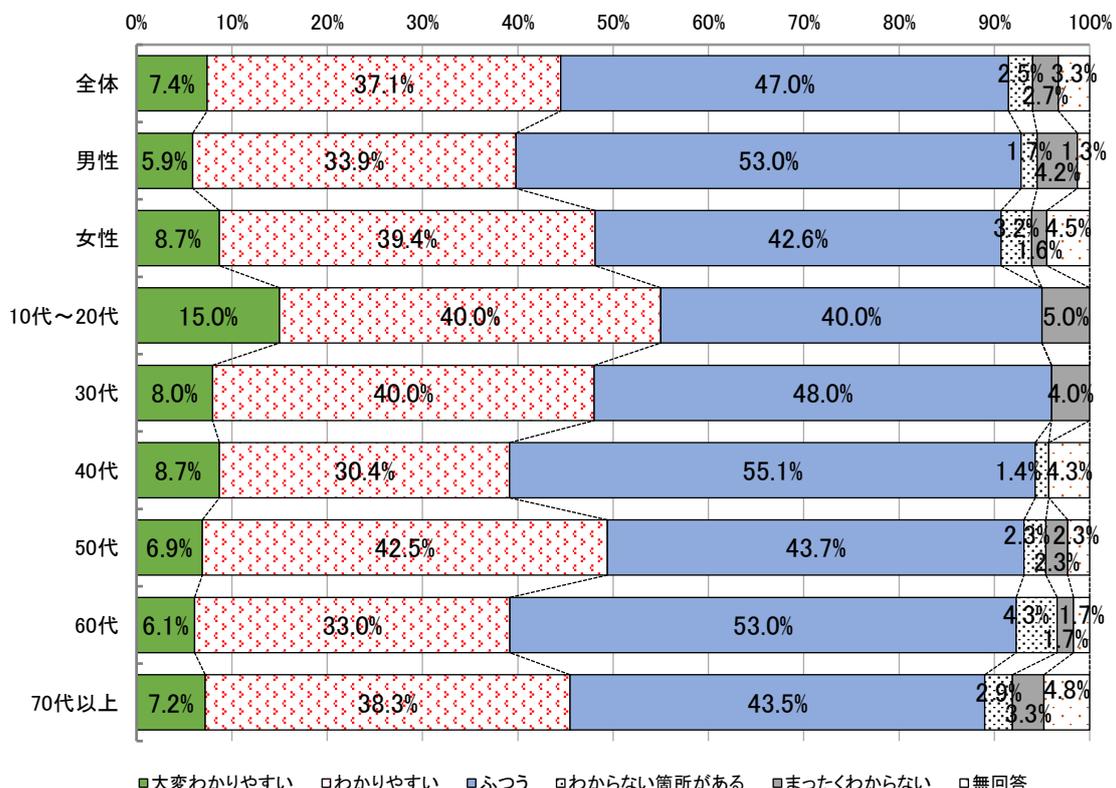
自治基本条例がわかるパンフレットの内容について、「大変わかりやすい」、「わかりやすい」と回答した割合は全体で44.5%、「わからない箇所がある」、「まったくわからない」と回答した割合は全体で5.4%となり、「わかりやすい」と回答した割合の方が高くなりました。



問5 「わからない箇所がある」「まったくわからない」を回答した理由
情報があつたのをよく見ていなかった。
抽象的過ぎて末端市民にどう影響があり、メリットがあるのかわからない。
転入し3年程なので、地域などわからない事がある。
回答しづらい。
政策法務、公益通報など言葉がわかりにくい。
条例がどうしたいのかわかりません。高齢者が多いのに若者と高齢者の交流を多くするとか具体的なことがないような気がします。
そもそも条例って何ですか？
自治基本条例の必要性が不明。
文字ばかりで目を通しにくい。
昔と違って説明はありますが、内容的にも横文字の言葉が多くなっている気がします。
いろんな単語が出てきて、その意味がわからない。
令和5年3月発行なのに、なぜ1年以上経ってアンケートなのか？
具体的ではないので。
東京在住で見られていない。

問6. 本アンケートに同封した自治基本条例のリーフレット（主役はわたしたち！みんなで進めるきょうどうのまちづくり）は、わかりやすいと思いますか。

自治基本条例のリーフレットの内容について、「大変わかりやすい」、「わかりやすい」と回答した割合は全体で44.5%、「わからない箇所がある」、「まったくわからない」と回答した割合は、全体で5.2%となり、パンフレット同様、「わかりやすい」と回答した割合の方が高くなりました。

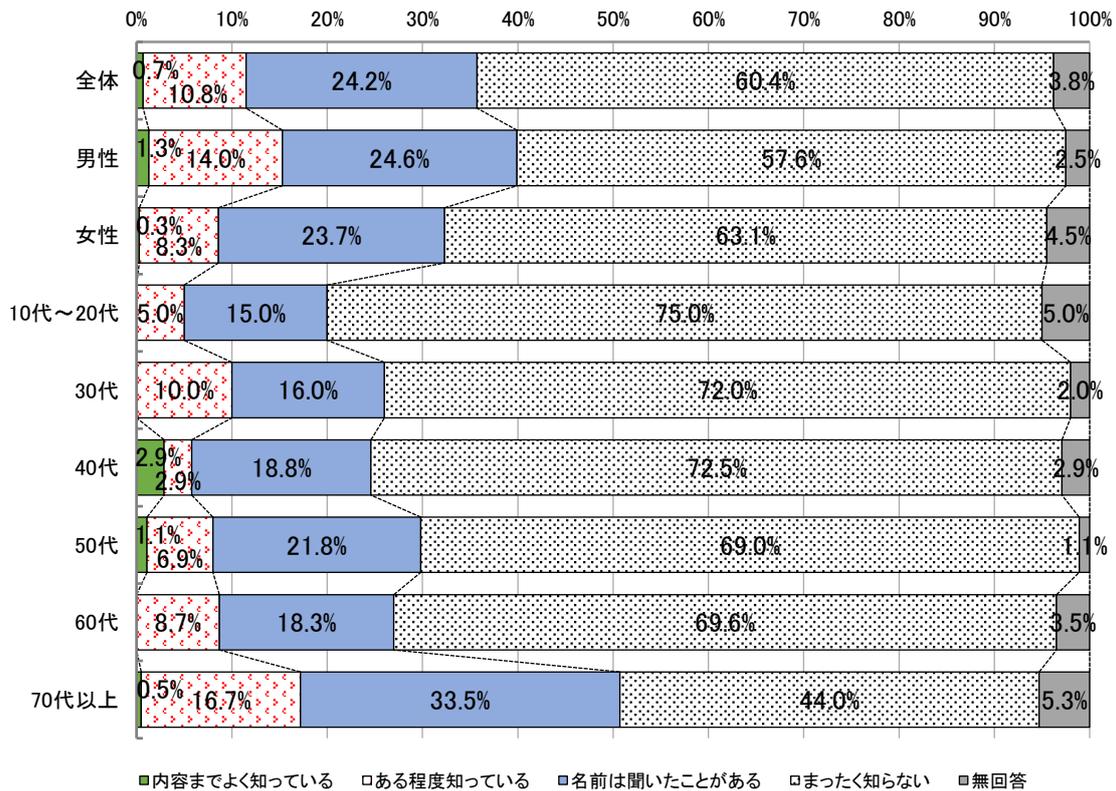


<p>問6 「わからない箇所がある」「まったくわからない」を回答した理由</p>
<p>もっとわかりやすく書いてほしい。</p>
<p>主役である私たちの意見がどのように通ったのか、例も記述があればよりわかりやすい。</p>
<p>市民、市議の役割が絵と矢印で示されているのでよくわかるのですが、守らなければならないルールの部分が3つに分かれているところを1つの文章にまとめてもいいのかなと思います。（情報共有、市と市民が情報を出し合う、ルールでなくてもいいのかなと思います。）</p>
<p>主役は市民だけど。そこに市が入るならお金は（活動費）どこが出すのかな。一切書いてないからわからない。</p>
<p>「わたしたちがつくるえべつのみち」と内容がだだ被りで必要なのかな？</p>
<p>要約しすぎて、内容がわかりづらい。</p>

2. 市民参加について【問7～問15】

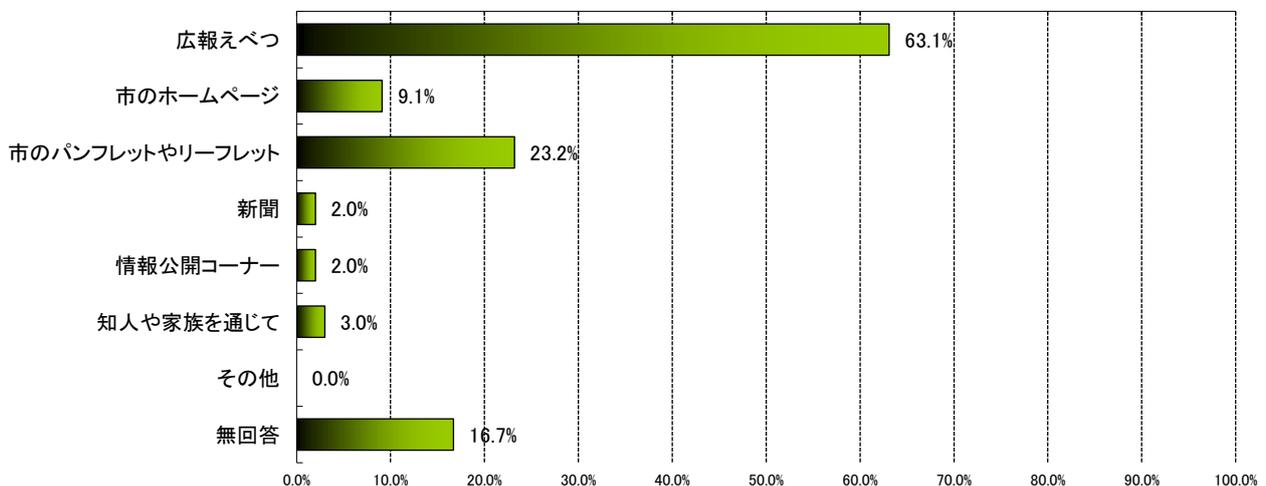
問7. 自治基本条例（第24条5項）に基づき、市政（市の計画など）に対して市民が主体的に参加する方法を定めた「江別市市民参加条例」を知っていますか。

江別市市民参加条例について、「内容までよく知っている」、「ある程度知っている」「名前は聞いたことがある」と回答した割合は全体で35.7%となりましたが、およそ6割が「まったく知らない」と回答しました。



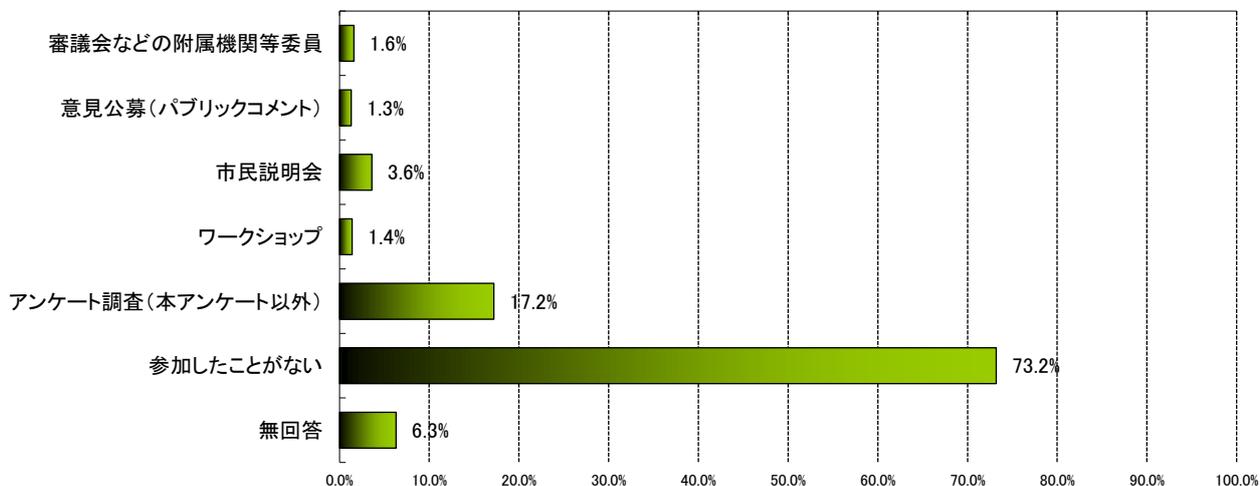
問8. 「江別市市民参加条例」を何で知りましたか。（複数回答）

江別市市民参加条例を知ったきっかけとして、「広報えべつ」63.1%と最も高くなりました。次に「市のパンフレットやリーフレット」が23.2%、「市のホームページ」が9.1%となりました。



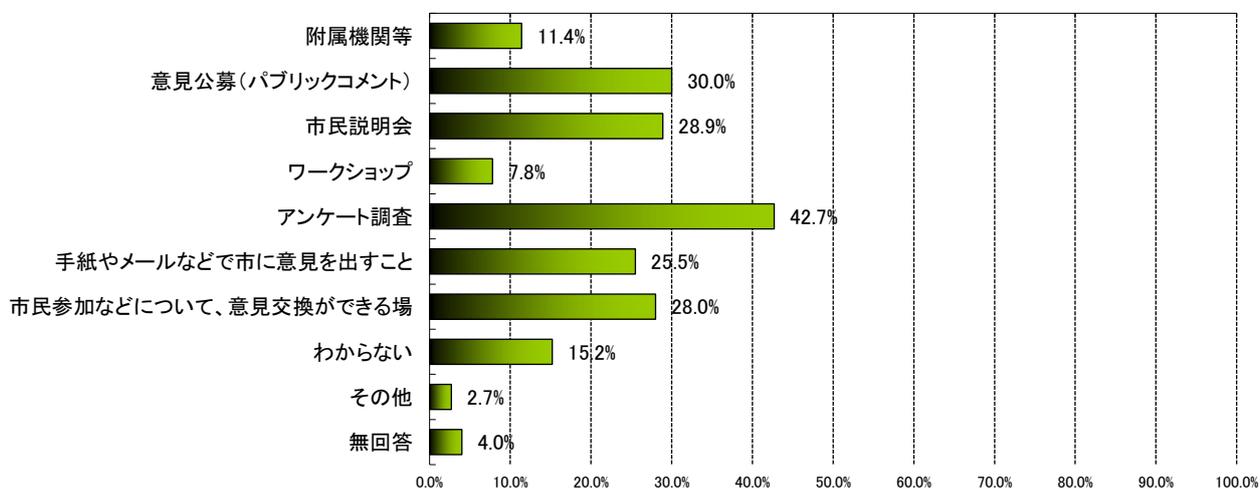
問9. 市民参加条例では、市民が市政に参加する市民参加の方法として、以下のものを定めています。これまでに参加したことがあるものをすべて選んでください。

これまでにしたことがある市民参加の方法の中では、「アンケート調査（本調査以外）」が17.2%と高くなっていますが、「参加したことがない」が73.2%と約7割を占めています。



問10. 市民の意見を市政に反映させるには、どのような方法が有効だと思いますか。（3つまで選んでください）

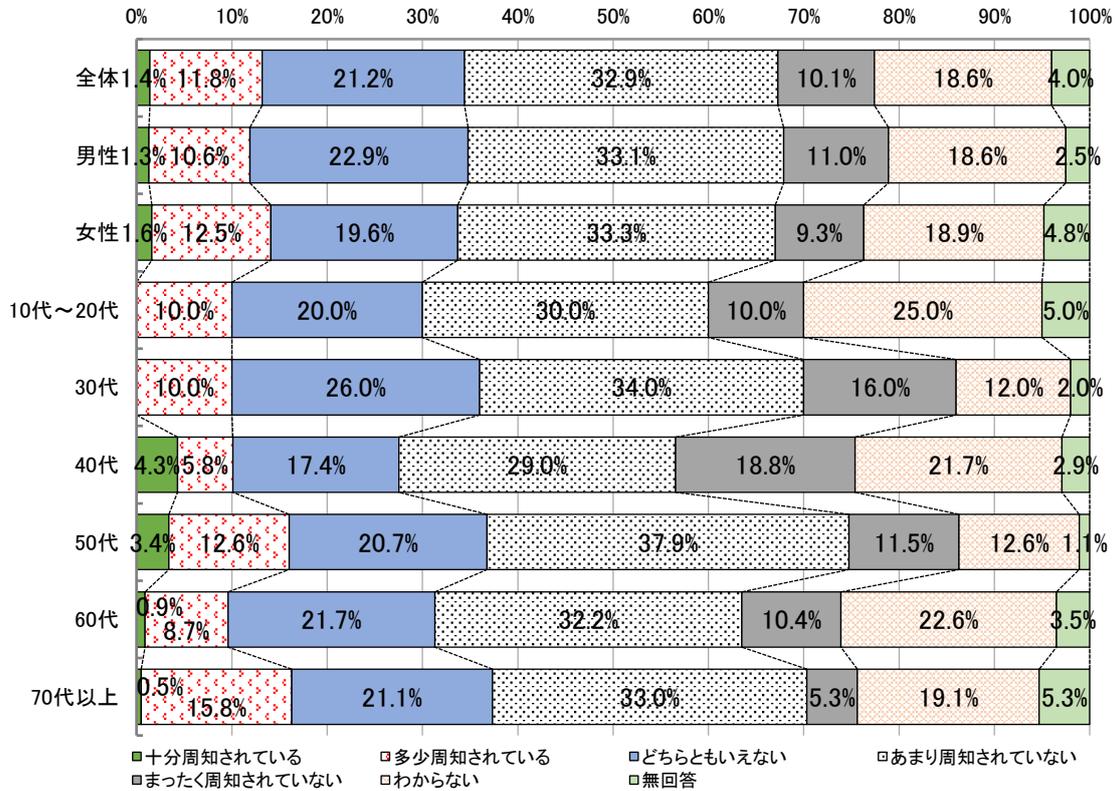
市民の意見を市政に反映させることについては、「アンケート調査」が42.7%と高く、次に「意見公募（パブリックコメント）」の30.0%、「市民説明会」の28.9%となっています。



問 10 その他
ウェビナー、オンライン MTG。
広報えべつに掲載する。
若者が増えているので、インスタグラム、TikTok、X、ラインを使っていけば良いと思う。
誰にも理解しやすいパンフレット配布。
回答 7 の様な場は地区でするようにして欲しい。
もっとわかりやすく、答えやすいアンケートにする。
そもそも意見を聞かれた事がない。
公務員オーラが好きな人もいると思うが、嫌い&苦手な人もいると思う。公務員オーラが出ていない人を選抜し私服公務員として活動してもらおう。市民の本音が聞きたければ、定時よりアフターファイブが効果的だと思う。
若い世代には普段から SNS で碎けた情報も交え、江別市の情報発信に興味を持ってもらおう。意外と高齢でも SNS は見ているもの。
市役所にやる気がないからどの方法でも無理かな。
選挙でしょう。
意見交換の場などは無意味。わざわざその場に行く人は少ない。そういう場で話せない人も大勢いる。まずはメールでも何でもいいので意見を集める。そしてその意見に対してのアンケート調査。こういう意見が多く寄せられましたが皆さんはどう思いますか？など。
WEB 投稿。
町内会で意見やアンケートなどを配布して江別市へ提出。

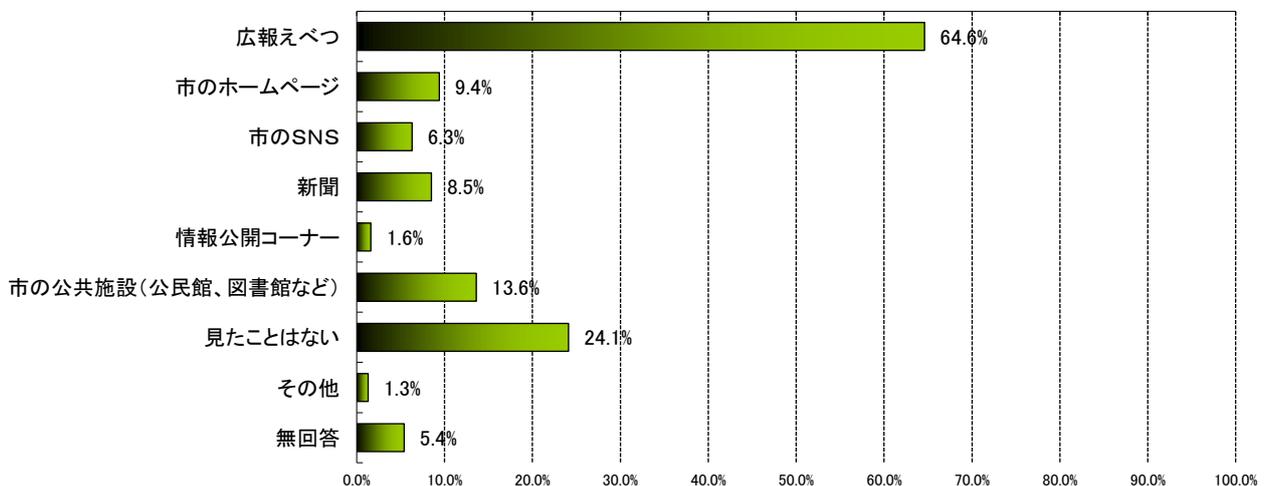
問 11. 附属機関等の公募委員や意見公募（パブリックコメント）の募集、市民説明会等の開催など、市民参加を求める際には、広く市民へ周知されていると思いますか。

市民参加を求める際に広く市民へ周知されている点について、「十分に周知されている」、「多少周知されている」が全体で 13.2%、「あまり周知されていない」、「周知されていない」が全体で 43.0% となっており、「周知されていない」と回答した割合が高くなっています。



問 12. 市では、問 11 の市民参加の情報を以下の方法などによりお知らせしています。どこかで目にしたことがありますか。（複数回答）

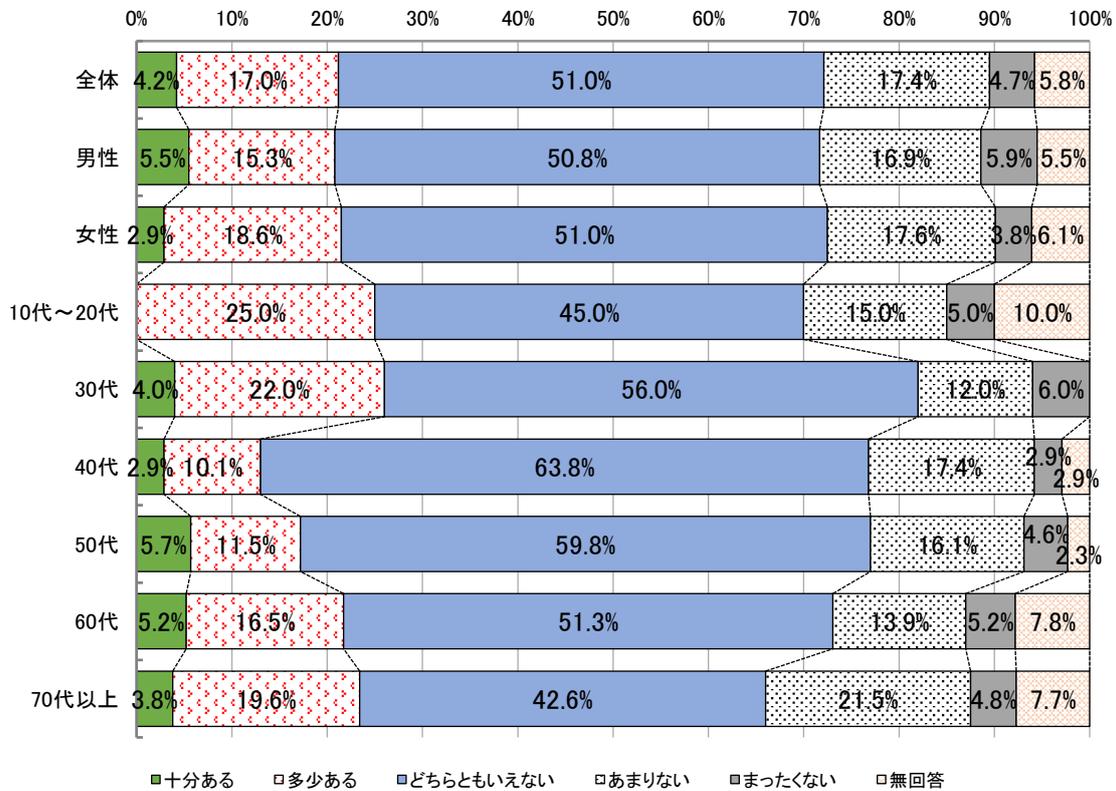
目にしたことがある市民参加の情報は「広報えべつ」が 64.6%と大半を占めており、次に「市の公共施設（公民館、図書館など）」の 13.6%、「市のホームページ」の 9.4%となっています。「見たことはない」と回答した割合は 24.1%となっています。



問 12 その他
市政だよりなのかもしれない。
あまり興味がないので流してきている。
広報えべつは読むものの、自身に直接かかわる事柄以外には無関心であった。
広報えべつに出しているなら私の見落としです
自治会役員時の市からのメール。
知人から直接。

問 13. 江別市は、市民参加の機会が十分にあると思いますか。

市民参加の機会については、「十分ある」、「多少ある」と回答した割合は全体で 21.2%、「あまりない」、「まったくない」と割合は 22.1%となっていますが、「どちらともいえない」と回答した割合は 51.0%となり、約半数を占めています。



問 13 理由	
十分ある	今までは無知だったが、今回郵送されたパンフレットで知り、1と答えた。十分あるものと思う。
十分ある	仕事を含め、毎日の生活をしている中で考える余裕があまりないかもしれないです。
十分ある	機会はあるのですが中々自分自身が出て行かない。
多少ある	今の所、自治会を通して（班長・区長を経験）陳情したことがある。
多少ある	広報等で周知して参加を求めているから。
多少ある	体の腰と膝が痛く通院中なので参加を控えめにしている。
多少ある	情報は時々得るが自分自身の無関心さもあり、今後もう少し関心持ちたい。
多少ある	開催案内を知る機会が少ない。
多少ある	参加したことがないのでわからないが、広報などに載っていたので知っていた。

問 13 理由	
多少ある	広報や SNS で知ってはいるがそれが十分かどうかは分からない。参加するのに不安が先に来る。
どちらとも いえない	知らないだけかもしれませんが SNS から意見が言える（送れたら）と良いと思いました。オンラインでも参加できる機会を設けるのはどうでしょうか、すでにそのような参加方法があったらすみません
どちらとも いえない	興味のあるものではないのではないかと。参加機会に対する意識があまりない。
どちらとも いえない	そもそも参加の機会の情報に触れていない。
どちらとも いえない	自分が気づいていないだけで充分にあるのかもしれないから。
どちらとも いえない	市民説明会は他の市町村でもよく行われている事だと思うので特別多いとは思いませんでした。
どちらとも いえない	どの自治体も市民の声が市政に反映されているかを知らない。
どちらとも いえない	転入して日が浅いため。
どちらとも いえない	わからない。
どちらとも いえない	自分自身の関心がなく見ていなかったのだと思う。
どちらとも いえない	身近に集まれる機会がないと思う。
どちらとも いえない	自ら参加しようとしたことがないので。
どちらとも いえない	機会を十分に承知できていないため。
どちらとも いえない	知り合いがいらないため行動していない、地理的によくわからない。
どちらとも いえない	個人的な問題であるかと。知りたいと思った方は参加の方法も（情報）を調べるかと思えます。
どちらとも いえない	参加したことがない人にとっては説明会やワークショップは（意見を持っていても）参加する人には勇気がいるもの。
どちらとも いえない	長く自治会の役員を務めた方や関係機関等に関わった方の出席が多く、幅広い意見の収集はできてないと思う。
どちらとも いえない	イベント等を行う際に市民ボランティア参加の機会がもっとあれば良いと思う。
どちらとも いえない	情報は広報えべつのみ。私自身興味がない。
どちらとも いえない	問いもそうだが、興味のある住民は積極的に情報収集を行うだろうか。まちづくりや市政に興味のない住民はまったく参加する考えはないだろう。

問 13 理由	
どちらとも いえない	市民参加の情報は広報えべつに掲載されていると思いますが、私を含めパラパラと見るだけで目に留まらないのでは。ホームページをめくった時、目に付くような掲載方法を考えていただければ。
どちらとも いえない	機会が設けられているものと思いますが、自分がよく知らないため。
どちらとも いえない	自分がよく情報に注意していない可能性もあるため、機会が多いがそうでないか判断できないため、3としました。
どちらとも いえない	注意深く見ていないと思う。
どちらとも いえない	よくわからない。
どちらとも いえない	どこでどのような機会があるのか知らない。
どちらとも いえない	自分が興味ないから目につかないのか、目につく機会が乏しいから記憶に残らないのか判断できません。
どちらとも いえない	市民参加の機会があると知らない。
どちらとも いえない	他の町と比べてないから分からないね。
どちらとも いえない	実際に行ったことがないので様子がわからない。
どちらとも いえない	他と比較できない。
どちらとも いえない	特に意識したことがないのでわからない、そもそも働いていたら行けない。
どちらとも いえない	自分は興味を持ったことがないのでわからない。
どちらとも いえない	機会はあるが興味が無い、特に労働者層。低階層の学生しか残らない街。
あまりない	興味を引く内容ではないので見逃しているのかもしれない。
あまりない	PRが少ないと思う。
あまりない	札幌に比べたらない。
あまりない	呼びかけが聞こえてこない。
あまりない	対象となる市民別・事業分野ごと、参加者が具体的に何をするかをわかりやすく解説する。など、参加しやすい方法を複数提示すべき。
あまりない	あるのかもしれないけれどよく知らないです。
あまりない	情報が市民にあまり届いていない。
あまりない	市民参加があること自体知らなかった。私にとっては広報えべつが一番身近な市の情報誌だが毎月よく読んでいるわけでもなく今後は注意して読みたい。
あまりない	パスの便が少なく、交通の便が良くない。
あまりない	情報発信の方法をもっと考える（自治会、職場等の活動）。

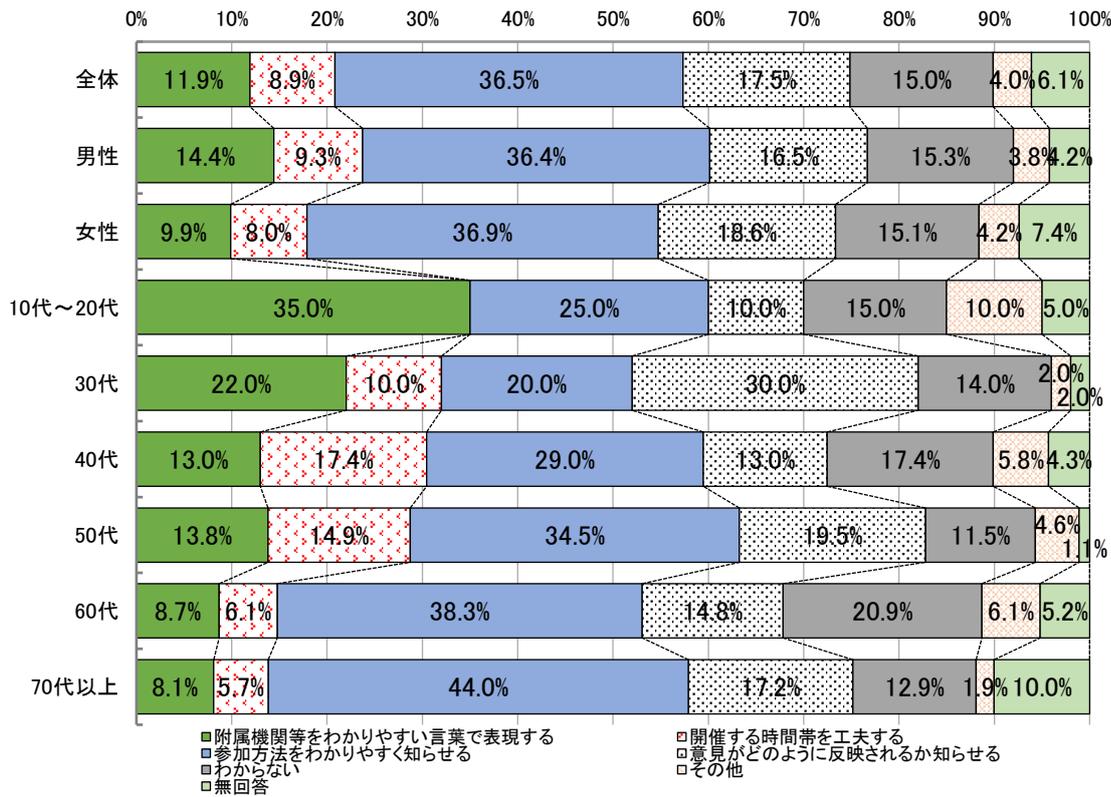
問 13 理由	
あまりない	集合住宅に住んでいるが、大家さんが町内会費払っていた。広報えべつがポストに入れられなくなっていた。
あまりない	今の自分がそうだから。
あまりない	体験、経験などができる観光要素が少なすぎる。そういうことについての会話が無いに等しいから。故に殆どの方が市民参加のことに無気力、無関心、無行動と思われる。刺激の少ない街故に市民はドーパミン不足、イライラ、スマホ中毒発生中。江別アプリなど開発してスマホを通して何かしら体験できるような…。(既出かもしれないけれど…)
あまりない	そう言ったものがあるのを知らない人が多いと思う。
あまりない	現にアンケート貰うまで全く知らなかったから。
あまりない	市民参加がいつあるのかがわかりにくいから。
あまりない	参加のための情報が届いていない。
あまりない	働く世代には時間的な余裕があまりないから。
あまりない	参加する広報を見たことがないから。
あまりない	敷居が高い感じ。1人で気楽にと思えない。
まったくない	どのような街づくりをしたいのかわからない。高齢者に優しいとか障がい者に優しい街づくりとか、交通の利便性が良いとか。
まったくない	自身が参加したことないから、参加する機会がなかった
まったくない	介護のため。
まったくない	わかりにくいということをしているのか周知すべき。
まったくない	そもそも市民参加の機会があることも知らない人が多いと思う。
まったくない	聞いたことが無い。
まったくない	情報が少ないのと、何をやっているのかわからない。事後報告のみ。
無回答	転入が浅いのでわからない。
無回答	これまで市民について関心がなかったのもそもそも機会が十分かどうか評価できない。
無回答	勉強不足かもしれませんがわかりません。

問 14. 以下の市民参加は、アンケートや市民説明会などに比べ参加者が少ない状況にあります。より多くの市民に参加してもらうためには、何が重要だと思いますか。

(1) 附属機関等

附属機関等の市民参加については、「わからない」を除き、「参加方法をわかりやすく知らせる」が全体で 36.5%と最も高くなっており、次に「意見がどのように反映されるか知らせる」が 17.5%、「附属機関等をわかりやすい言葉で表現する」が 11.9%となっています。

「附属機関等をわかりやすい言葉で表現する」は 10代~20代が 35.0%と最も高くなっており、年代が若くなる程高くなる傾向があります。

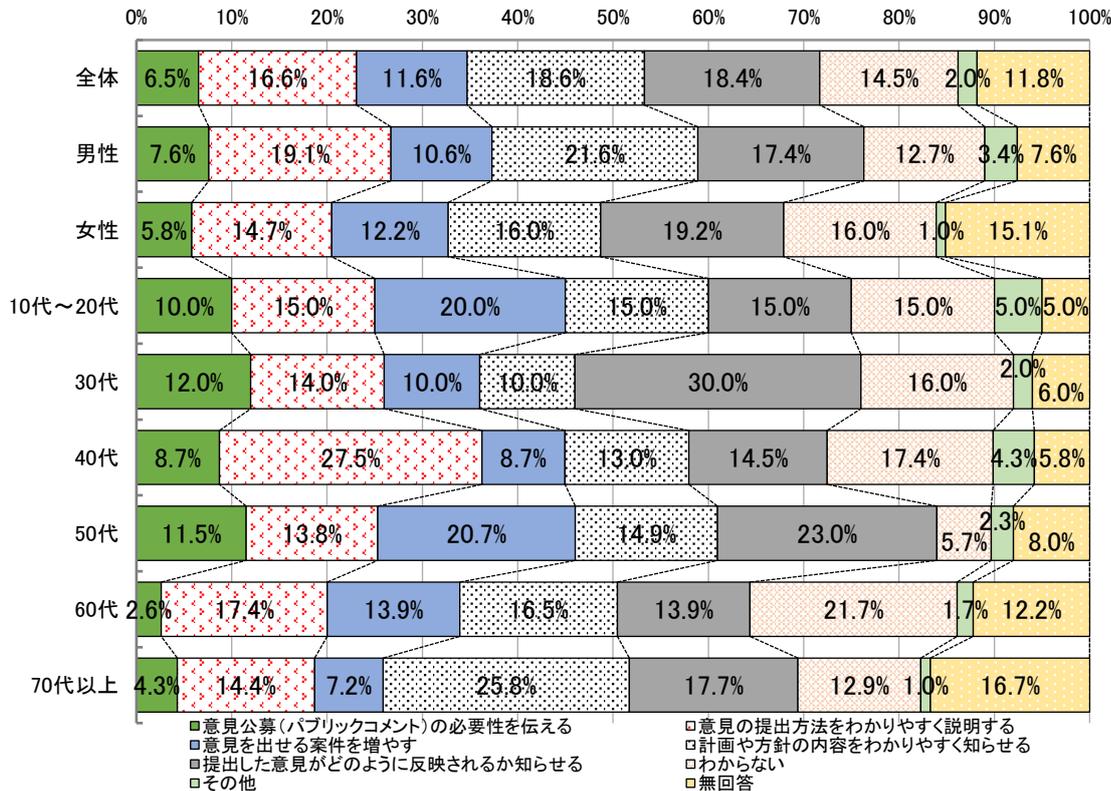


問 14 (1) その他
興味のある内容にする、表現をわかりやすくする。
面倒が先に立ち、そもそも人と関わるのがちょっと。
説明の対象の内容によると思います。
興味をそそるものにする。
SNS。
イベント目的とターゲットに沿った開催の施策を検討する。
市民の参加意識。
PTA や企業、サークルなどに半強制的に参加してもらう、トップ・リーダーによる呼び掛け。
堅苦しいのかも。明るく楽しい会場づくりが必要。
本当に市が参加者を増やしたいのなら開催する事を大々的に広報することが必要ではないか。
ネットで公開する。
参加方法の多様化。
自治会の広報で。
参加した人はお得な物か。
時給、日給を出す。
アンケートされた事ない。
交通手段が少なすぎる。
アプリにしてアバター体験できるようにする。実名、顔出しは今の時代にそぐわない。アバターにすると意見なども遠慮なく言えそうな気がする。
SNS やインターネットでの Q&A。
敷居が高いかもしれません。

(2) 意見公募（パブリックコメント）

意見公募の市民参加については「計画や方針の内容をわかりやすく知らせる」が全体で18.6%と最も高く、次に「提出した意見がどのように反映されるか知らせる」が18.4%、「意見の提出方法をわかりやすく説明する」が16.6%となっています。

「提出した意見がどのように反映されるか知らせる」は30代が30.0%と最も高くなっています。



問 14 (2) その他
日常的に必要性を感じない。
読みやすくわかりやすい資料。現在のパブコメは字も小さく、内容も難しく、理解しづらい。
LINE アンケートや楽天インサイト等、コストをかける。
パブリックコメントの実施について市の広報誌やホームページだけでなくチラシ等を戸別配布するなどしなければ参加者は増えないと思う。そこまでやる必要がある案件ばかりでしょうか。
結果などをみても、もらった意見に対して謙虚な姿勢は無いし、市側の意見が正しいと言いたいような言い訳ばかりだから。市の姿勢が変わらなければ無理でしょ。
そもそもいつどう出すか知らない。
意見公募がいつ行われるか、積極的に周知する。
公募自体が知られていないのでもっと知らせる。
された事ない。
アプリにしてアバター体験できるようにする。実名、顔出しは今の時代にそぐわない。アバターにすると意見なども遠慮なく言えそうな気がする。

問 15 8 ページ (*1) にある条例第 24 条「市民参加の推進」の条文について、ご意見があれば記入願います。

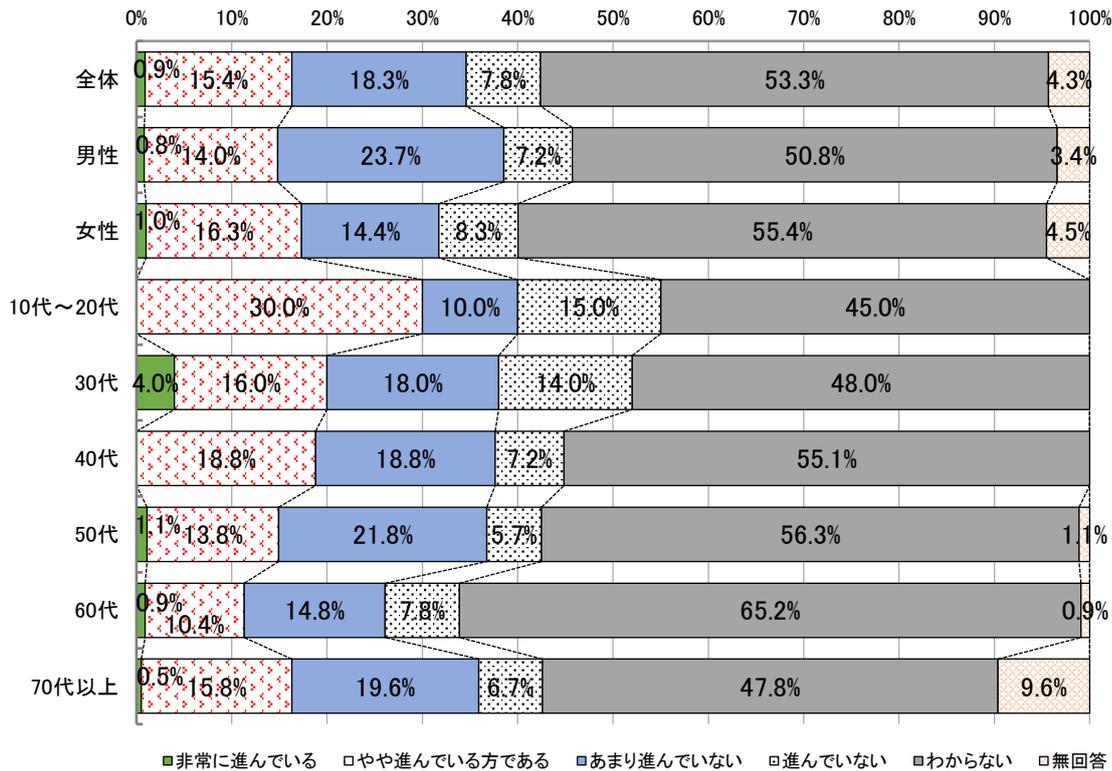
問 15 ご意見
自分も市民の一人だと自覚させる必要（取組）がある。自覚を持てば他人事ではなく、自分事と考えるのでは。
市民参加のために市民に参加を求めただけでなく、市民の活動に市の職員や市長も多く参加する仕組みを作るような内容があれば良いと思う。
ある程度内容は理解できる。
市民参加として市民説明会、ワークショップなどがありますが、具体的な例をのせるのはどうでしょうか。何のワークショップなのかということがなんとなくイメージ付きづらいと思いました。パンフレットの 8 ページかと思って意見を書いていた、条例文はこれで良いと思います。
行政、議会等で自治の運営は成されると思慮される。他の自治体の優れている部分は導入すべき、市民生活の向上へ努めていただきたい。
誰もが公平に市民参加ができるよう規定されていて良いと思います。
十分広報しているので、今更意見を求めることは無駄だと思いますが、自身がないのですか？
市の各組織が適切に機能していれば必然的に市民参加が推進されていると考えます。各組織は自分たちの業務をしっかり理解し、1人1人が考えを持ち行動することが市民を引っ張る力になるのではないかと思います。
特定の団体や特定の人のみが組織的に意見を述べることによりあたかも江別市民の大多数が希望しているとの錯覚に陥る事がある。積極的に市政が参加しない自分たちにも責任があるが、出来上がってしまったものに疑問を感じる事がある。より声を大きくしたものの意見が通ることについては常に疑問を感じる。
第 4 項は第 1 項と第 2 項を実現するための仕組みを作るよう努めなければならないとしている。1 項と 2 項だけでよいのでは。
成人の参加と別に若者（小・中・高）の参加も企画すべきと考える。
積極的に市民参加に力を入れている事は何も知りませんでした。
共働きの世代で皆忙しく説明会などに参加しづらいのでネット上で意見を述べるかアンケートにしたほうが参加しやすい。年配者には参加賞付きでサークルなどで半強制的に参加してもらっては。
誰しもが参加できる内容の文面になっているが、実際には機能していない気がする。（例）交通問題であれば利用者側の市民の意見収集の必要があり高齢者の意見収集、利用される側の意見収集の必要があり、高齢者の負担問題も一方的な利用者側だけの話を聞いても賛成出来ない等。
5. 市民参加に関し、必要な事項は別に条例で定める。とあるが、条例の内容が全ての市民に理解できるような言葉で表記される事を望みます。
公募するときに条例だとか条文のような言葉ではなく、堅くならないよう気軽に参加できる内容の説明があれば参加しやすいのでは。
毎日が忙しい人は参加が難しいと思うので、もっと簡単に参加できる手段があるといいと思う。市のホームページや広報を確認している人は少ないと思います。
市の広報などアパートには配られないので、スーパー等で入手している。そのため、毎月手に入るとも限られないので情報がない。他市町村から転入して来たがいまだに江別市の事はわからない。
立派な条文を書いても、職員が権利ばかり主張したらダメなんだよ。
何もしていないように感じる。どのような事をしているのか案内も必要かと思う。
内容によって参加したい。

問 15 ご意見
<p>私は 83 歳で、昭和 47 年に江別に住み、江別市には満足し、家族が多く、日々多忙でお姑さんや、小姑が亡くなり、また結婚し、子ども達も成長し、自由な時間がもてるようになって少しずつ色々な市の会合に参加させてもらい楽しく過ごしていましたが、年々歳をとり、膝の骨折や体のあちこちに病気が出て「江別市市民参加条例」にどんどん遠ざかって行くばかりで残念に思っています。</p> <p>この度の「自治基本条例アンケートを出す為に「パンフレット・リーフレット」を頂き、私のように目が悪い者でもカラフルで活字も大きく読みやすく、即、引き込まれて読み始めました。私のアンケートはあまり役に立たないでしょうが、このパンフレットとリーフレットは暇を見てはちょこちょこ読み直してみたいと思います。どうもありがとうございます。</p>
<p>興味のある人はあちこち参加していますが、ただ住んでいるだけの人も参加しなくてはならない気持ちにするような、「わかりやすい」単語が良い気がします。（子ども向けのも作成して欲しいです。）</p>
<p>市民参加そのような機会があれば意見したいことはたくさんあります。</p>
<p>「変化」がわかる政治を見れば、参加する意義を理解してもらえんと思います。</p>
<p>教養ある文化の街、人中心のまちづくりならば今の文化協会衰退はいかに？生涯学習の参加者の減少は？もう少しお金のかけ方を。</p>
<p>条文としては、網羅的であるため、別に実施規定や要綱を部署ごとに作成する必要がある。職員が自覚して行動できるようにしてください。</p>
<p>意見を反映させるための仕組みづくりがどの程度されているのかわからない。結果はわかりやすいけれど経過も知りたいと思う。</p>
<p>難しく書かれていて、がんばらないと理解できないので読む事をやめてしまう。もっとわかりやすくしないと読んでもらえない。</p>
<p>構成自体の問題はないと思いますが、法律や条文に馴染みのない分野の人には具体的な内容が掴みにくく、とっつきにくいのかと思います。</p>
<p>条文を実現しないと絵に描いた餅になります。</p>
<p>若者の知識、高齢者の知恵を活かせるような市民参加型にすべきではないでしょうか。時代の変化や教育の質の変化、特にゆとり教育により、好きなことはやるが、嫌いなことはやらない人づくりになってきているような気がします。良き人材育成がもう一度必要ではないでしょうか。弱者にとって住みよい街づくりを！！</p>
<p>今の子どもたちが 40-50 代になったときには世の中も大きく様変わりしていくと思うので、年代別人口推計を元に AI などを駆使してより良い方法を模索していくほかないと思います。現状維持は衰退しているのと同じと思うので・・・。</p>
<p>知らしめる為の、行動が必要、また、条例が具体的では無いため、もっと積極的の条文が必要。</p>
<p>条例で定めるとあるが、条例まで確認したことがない。</p>
<p>市民参加の場や機会が設けられていても、そのことについて周知がされなければせっかくの場を有効に活用しきれないので、市民への周知を徹底するのいいと思いました。（例えば、学校の授業で取り扱う、江別市公式ラインでの周知、など）</p>

3. 市民協働について【問 16～問 23】

問 16. 「協働」とは、市民及び市が、それぞれの役割及び責任を理解し、互いに尊重しながら協力して取り組むことです。江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思いますか。

「協働」によるまちづくりについては、「非常に進んでいる」、「やや進んでいる」が全体で、16.3%となり、「あまり進んでいない」、「進んでいない」が全体で26.1%となり、「進んでいない」と回答した割合の方が高くなりました。しかし、「わからない」と回答した割合は全体で53.3%となり、約半数以上が「わからない」と回答しました。



問 16 理由	
やや進んでいる方である	自治会に参加していた時（役員等）は花壇に花植え等をしていたので何かしら気にすることなく参加していました。江別は学生さんの活躍が活発の様に感じます。
やや進んでいる方である	市内企業の取り組みや市のリソースを使ったイベントがあるから。
やや進んでいる方である	例えば子育て支援にしても札幌のように進んでいると思います。「ぽこあぽこ」にもわざわざ札幌から来ているという話も聞きました。
やや進んでいる方である	商業施設を活用した市民のための場作りはとても有効であると感じる。学生等若い力を取り入れているのも文京地区らしい。
やや進んでいる方である	他の市町村と比較する機会がないため、あまりよくわかりませんが、自治会等の活動を見ていると進んでいるイメージがあります。

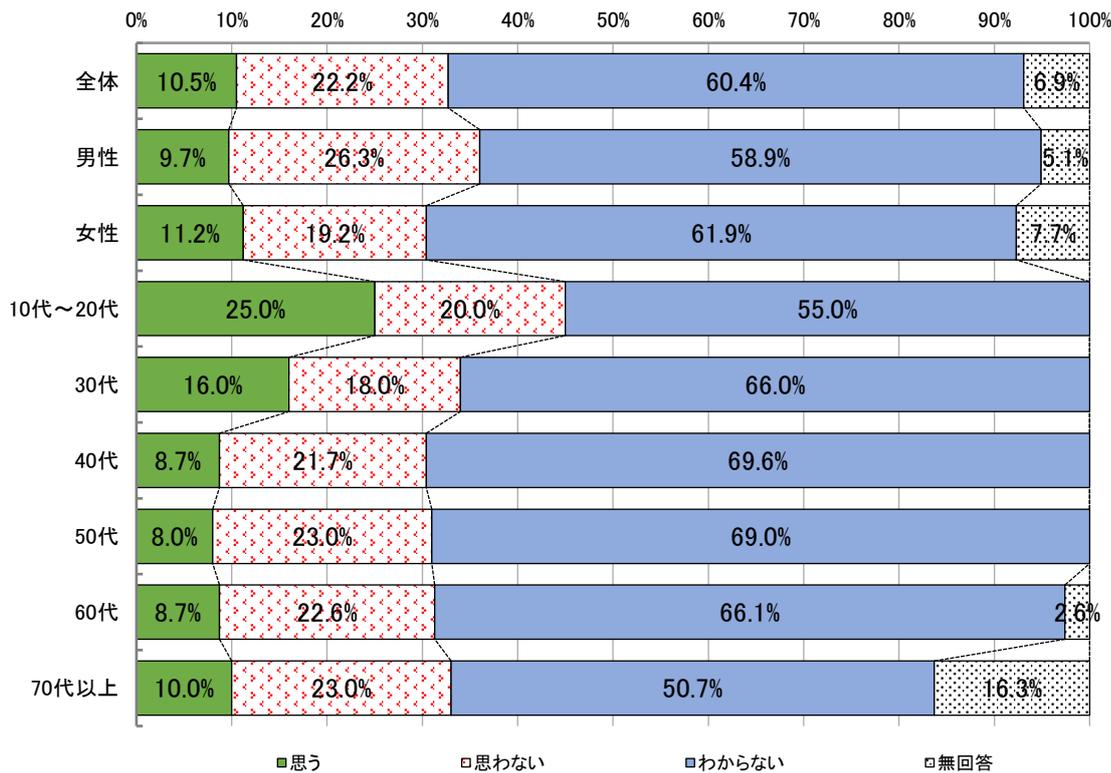
問 16 理由	
やや進んでいる方である	広報で色々な催しの開催をしているので。
やや進んでいる方である	自分が子どもの頃から比べるとワークショップや色々な様なものを開催しているように思えます。
やや進んでいる方である	若者や学生が参加している点。
やや進んでいる方である	広報で学生さんと何かやっているのを見た。
あまり進んでいない	地域差があるように思う。もっと自治会単位の取り組みが必要では。
あまり進んでいない	ボランティアや NPO 活動に市が具体的にわかりやすい形で支援する場面が少ない様に思うから。
あまり進んでいない	行政と市民目線で望んでいる事と隔たりがあり、積極的に参加しようという気になれない。
あまり進んでいない	江別市と自治会との関係について明確にされておらず今後の展望も見えない。市は本当に自治会が機能しているという認識でいるのか。
あまり進んでいない	一般市民が取り組んでいない。
あまり進んでいない	聞こえの良い話で協働と言いながら金額の少ない市からの補助金で、市職員への負担が多いだけ。
あまり進んでいない	情報の周知徹底がされていないのでは。
あまり進んでいない	市民に負担を強いるだけの協働は困ります。まず、職員が具体的な事業を提示し、自らが何をどのようにするか、主体的に提示してほしい。
あまり進んでいない	周りでそういった活動に参加している人が少ない。
あまり進んでいない	そのような情報が伝わっていない。
あまり進んでいない	今までに協働する機会がなかったため。
あまり進んでいない	札幌市と比べると、NPO 団体やボランティア団体の活動が少ないと感じます。その中で、大森銀座商店街付近は活発な活動を耳にします。
あまり進んでいない	協働を行う機会がない。
あまり進んでいない	それを実感する場面がない。
あまり進んでいない	市民は、市との協働についての意識があまりないと思う。また、全て市が決めて周知されると感じているのが、多いと思う。

問 16 理由	
あまり進んでいない	市民は、まちづくりを自分事として捉えて考える機会が少ないのではないかと。特に、途中で転入してきた世帯などで市への関心をもっと持つべきである。
進んでいない	江別市民でありながら札幌方面に足が向いている。
進んでいない	子育ての事が充実している点に関しては進んでいると思いました。
進んでいない	取り組む機会がないように思う。
進んでいない	実感したことがない。
進んでいない	要望を出してもほとんど実現していない。例：除雪などの除雪方法、片方ばかり雪を置いていく。
進んでいない	まずその市民が何をしているのかわかっていない。市は市民へ話をしていない。
進んでいない	経済圏が札幌に依存しているため、高齢者と子育てしか市政に興味がないことに加え、彼らには知識がないから。
進んでいない	今日初めて聞いた。
進んでいない	協力してやっていることがわからない。
進んでいない	協働しているところを見たことがないため。
進んでいない	除雪が適当。伝えたところで何もしない町だから。
わからない	「協働」については、今まで馴染みのなかった事柄なので「わからない」と答えた。
わからない	具体的な取組がわからない。
わからない	そもそもの活動の実態が見えない。
わからない	転入して日が浅いため。
わからない	気にした事ありません。
わからない	今まで気にしたこともないので。
わからない	協働していると実感することができない。
わからない	自分が参加していない。
わからない	あまり協働という言葉聞いたことがないので。
わからない	どれだけの協働が行われ、成果があるのか知らない。
わからない	気にした事がない。
わからない	よくわかりません、回覧見ているだけなので。
わからない	市が何をしているのかわからないので。
わからない	実感が無い。
わからない	見聞きしていないから。
わからない	どういう所が協働か？
わからない	よそのかわからないので、判断できない。

問 16 理由	
わからない	地区の公園を見ても整備・保守などが？枯れた雑草、その割に街路花壇の整備は各地よくやっていると思う。
わからない	自治会の活動はよく見えるが市の活動についてはよくわかりません。
わからない	何がどうなれば進んでいるとなるのか基準がない。
わからない	江別市へ引っ越して来てまだ日が浅く、よくわからない事が多い。
わからない	参加したことがないので答えようがない。さらに周りにそういう人がいないのでわからない。
わからない	明確な目的がわからない。具体性が少なすぎるのでは。
わからない	協働？具体的に何かしているの？

問 17. 「協働」についての意識啓発が、図られていると思いますか。

「協働」による意識啓発については、「思わない」と回答した割合が全体で 22.2%となり、「思う」の 10.5%より高くなりましたが、「わからない」と回答した割合が全体で 60.4%となり、約 6 割が「わからない」と回答しました。



問 17 理由	
思う	以前より図られていると思います。
思わない	協働という言葉は初めて聞いたから。
思わない	協働自体認知されていないと思う。
思わない	言われてみれば「協働」という文字を広報えべつで見たことがある程度なので。
思わない	聞いた事がなかった。
思わない	市民の関心の低さ。

問17 理由	
思わない	身の回りに協働に対するテーマが全く聞かない、広報もまんべんなく読む事もない。
思わない	協働という言葉が理解されていないと感じる。
思わない	参加できる情報がほとんど入ってきていない気がする。
思わない	こうしてほしいという意見を伝える場が限られている。何を求められているか、広く声を拾っていない。
思わない	市民生活に根付いた街づくりの提案が少ない。
思わない	もっと具体例や参加体制がわかれば協力しやすい。
思わない	情報交換が見えてこない。
思わない	必要な制度とは？市と市民？上部自治連の役割は何もない。地区防災は何もしないで負担だけ集める。下部の自治会だけが苦勞を強いられる不公平だ。
思わない	協働していると実感することができない。
思わない	気にしていない人が他にもいると思うので。
思わない	全く知らなかったの。
思わない	わたしは意識啓発されている実感がありません。
思わない	市側が協力的ではない。
思わない	もう少し広報えべつなど使って知らせて欲しい。
思わない	図ろうとしているようにみえない。図ろうとしているのなら行動してほしい。
思わない	実生活で参加している気がしないから。
思わない	伝わっていない。
思わない	今回初めて知ったため。
思わない	協働への参画の意義や機会を見たことがないため。
思わない	広報で協働に関する記事を見たことはありません。
思わない	意識啓発が行われていると思ったことがない、意識啓発は具体的にどのように図られているがわからない。
思わない	具体的なイメージがわからない。
思わない	聞いた事がないため。
思わない	それを実感する場面がない。
思わない	御題目的である。
わからない	どういったプロセスでの意識啓発かがわからない。
わからない	気にしたことがなかった。
わからない	きっと説明会やワークショップに参加した方の人数や世代などを記載して広報とかにのっているのかもしれませんが、あまり目にとまらなかったりしました。市民の何人が参加したとかという割合が出ていたりするのでしょうか。アンケートを通じてこのような取り組みを知ったので意識して広報をみようと思います。
わからない	年を取ると、漢字連ねている文字は、頭に入りづらく、理解しにくいです。
わからない	転入して日が浅いため。
わからない	立派な条文だが個人の事はわからない。
わからない	市政に参加しているという実感がない。
わからない	具体的に協力し合っていると感じない。
わからない	知りませんでした。
わからない	今まで気にしたこともないので。
わからない	水面下で交流や意識啓発が行われているとは思いますが自分は目にしたことがない。

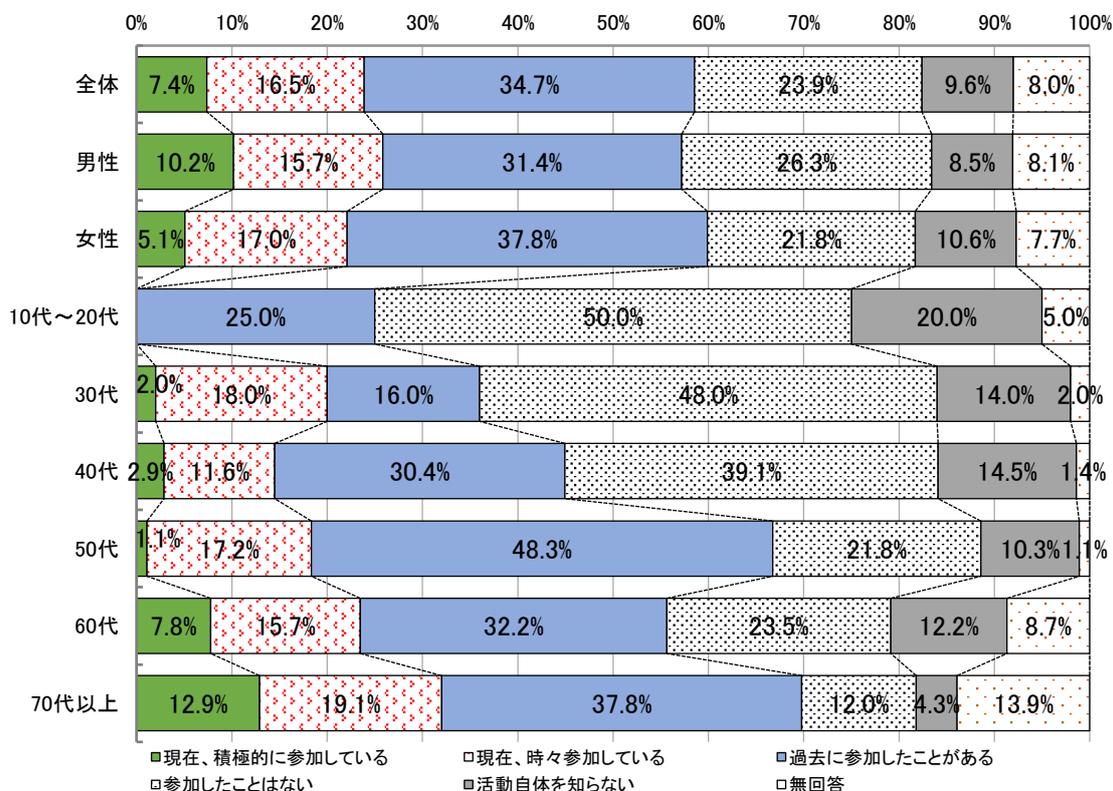
問17 理由	
わからない	初めて聞く用語です。
わからない	あまり協働という言葉聞いたことがないので。
わからない	私自身よく知らない。
わからない	されているように感じたことがないため。
わからない	実感が無い。
わからない	意識して見てなかったのです。
わからない	市民が主体と感じたことが無い。
わからない	私自身、日頃住んでいて協働について意識させる機会がなかったので。
わからない	自分が参加していないので。
わからない	どこで意識啓発が行われているのかわからないので。
わからない	市民協働があること自体知りません。
わからない	江別市へ引っ越して来てまだ日が浅く、よくわからない事が多い。
わからない	実際どうかわからない。
わからない	協働について、具体的に聞いたことはないから。
わからない	その事について考えたことがない。
わからない	市民の教養度が低い。勉強ができることが教養でないことをまず学ばせるべき。教養が身につくと江別は変われると思う。あるとき、みどりの募金活動している人に鼻で笑われたことがある。(素晴らしい…驚働…ある意味)
わからない	どういったもので啓発しているかわからない。
わからない	協働したという人を知らないので答えようがない。
わからない	全く解らないから。
わからない	何をしたいのかビジョンがわからない。北海道の歴史があつて、そして江別の歴史があるのに江別のことしかというか、他と比べる必要もあるのでは。
わからない	今は当たり前となっているルールも、お家を建てて別市から来た方たちも多い中で当り前のルールを知らない人も多いと思う。私はずっと江別市ですが、それでも家を建てるまで知らなかったルールがあるように感じます

問 18. これまでに、自治会や市民活動団体、ボランティアなど、まちづくり活動に参加したことがありますか。

(1) 自治会

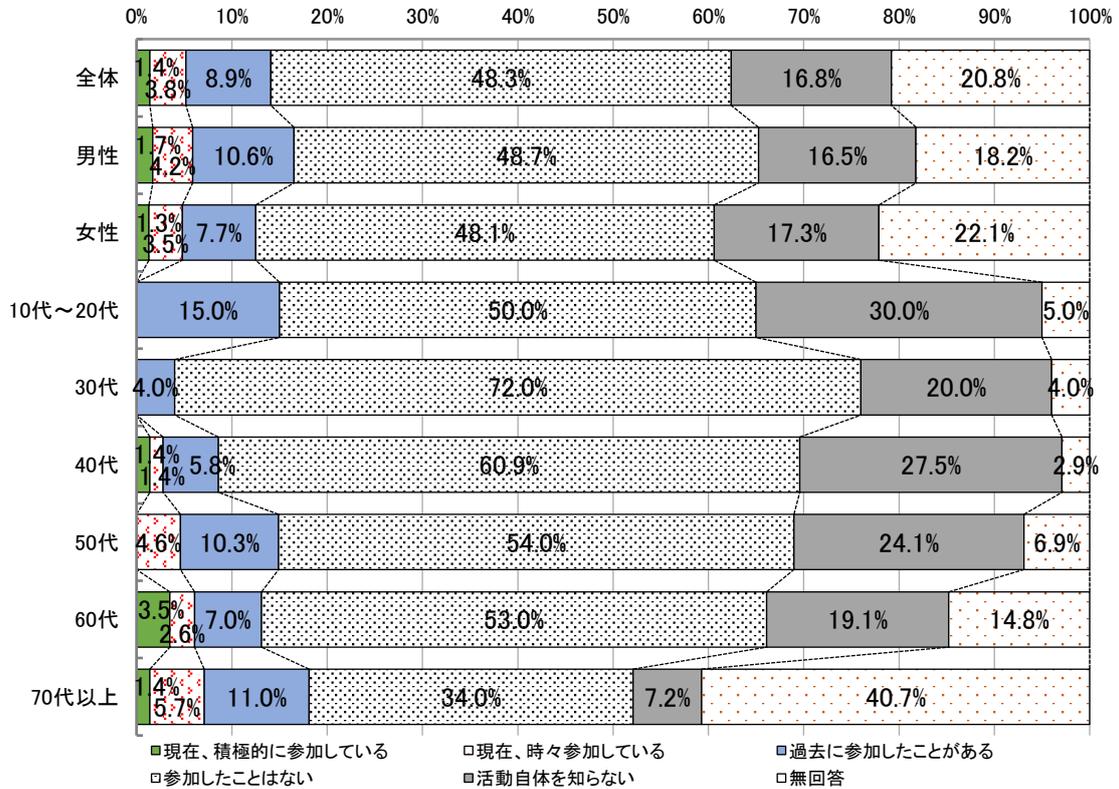
自治会の活動は「現在、積極的に参加している」、「現在、時々参加している」、「過去に参加したことがある」の割合が全体で 58.6%となり、約半数以上が参加したことがあると回答しました。

「現在、積極的に参加している」、「現在、時々参加している」割合は、70代以上が 32.0%と最も高くなり、年代が低くなるほど割合が低くなる傾向があります。今回の調査で、10代～20代が現在参加している回答は得られませんでした。



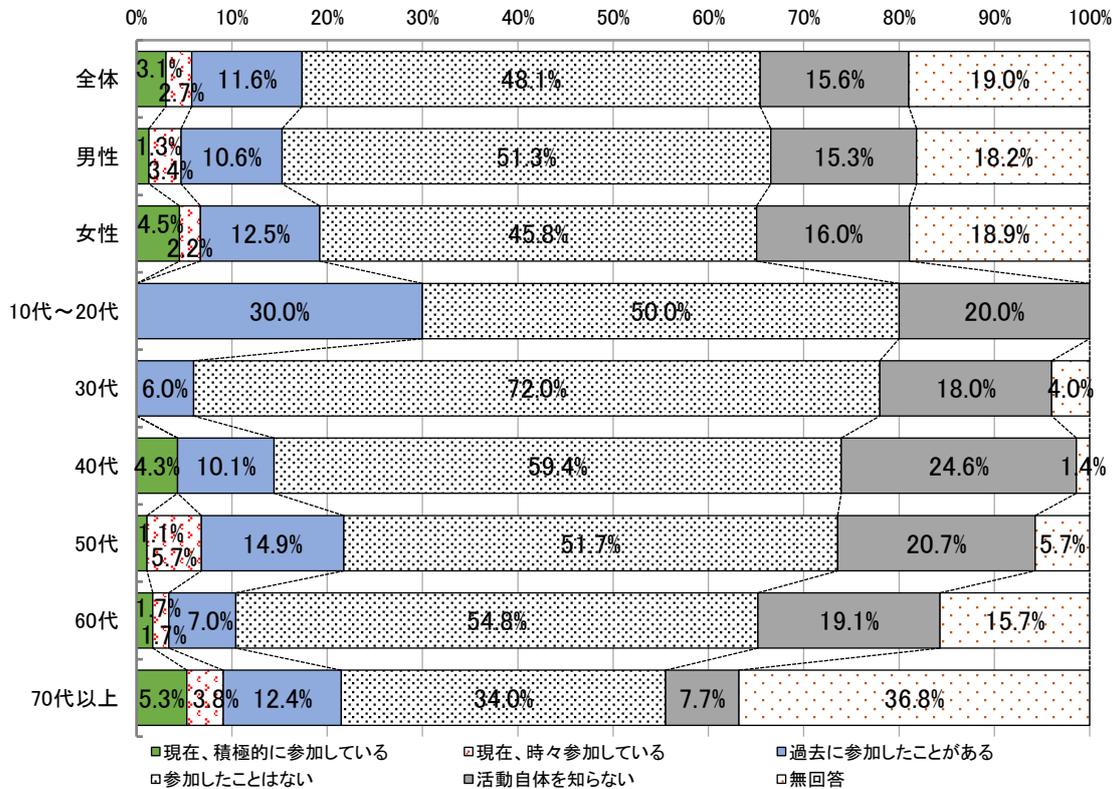
(2) 市民活動

市民活動は「現在、積極的に参加している」、「現在、時々参加している」、「過去に参加したことがある」の割合が全体で14.1%、「参加したことはない」、「活動自体を知らない」が65.1%となり、およそ6割以上参加経験がないと回答しました。



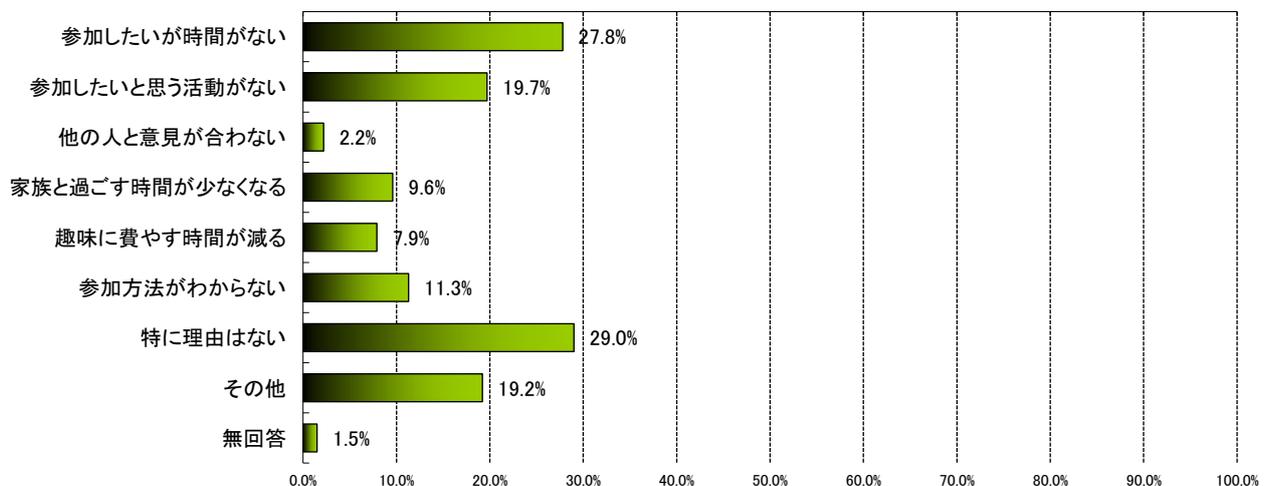
(3) ボランティア

ボランティア活動は「現在、積極的に参加している」、「現在、時々参加している」、「過去に参加したことがある」の割合が全体で17.4%、「参加したことはない」、「活動自体を知らない」が63.7%となり、およそ6割以上参加経験がないと回答しました。



問 18 (1) . [問 18 で 3～4 と回答した方] 現在、参加していない理由を教えてください。(複数回答)

現在参加していない理由について、「特に理由はない」が29.0%と最も高く、次に「参加したいが時間がない」が27.8%、「参加したいと思う活動がない」が19.7%となりました。

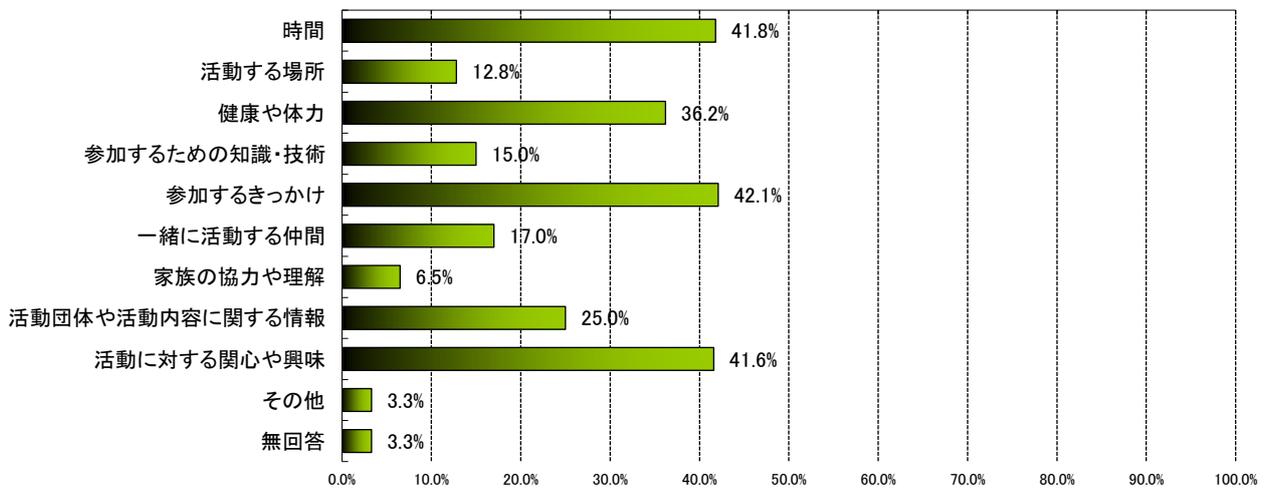


問 18 (1) その他
現在「自治会」は存在せず。数年前に解散したため。
自治会は当番制なので何年かに1度はする。
今の住居の自治会で年々活動が縮小しているので寂しいくらいです。
高齢になったため。
親の介護で時間がない。
自治会の役員でないため。
どんなものがあるかわからない。
家族の介護の為。
高齢の為。
高齢の為。
数年ごとに持ち回りなので。
参加する機会が聞かれない。
高齢により。
年齢的に難しくなってきたため。
身体が不自由なため、できない。
日程などが合わず参加出来ない。
仕事中心の生活のため。
コミュニティーに参加しなくても十分に楽しく生きていけるほど豊かな時代になってしまっているの で、貢献しようという意思が希薄になっているのだと思う。
体が悪いため。
身体が不自由。
仕事をしているので参加出来ません。
病気の家族がいるので。
体調がよくないし自分がお世話されそうです。
自分の意識が低いせいか、いつ、どのような活動があるのか目にする事が出来ない。
高校の時に参加した。
体調に問題がある。
要支援2の認定、出来る事あれば参加したい。
年齢的な事。
コロナでやめてしまった。
有意義な活動が少ないから。
自治会等の回り番で来る以外なし。
自治会においては役員等になれば何となく参加。
体力的に無理な時がある。
役員をやらされるのが嫌。
高齢になり私が思う様にならないため。
自治会だけで無理。
身体の調子があまりよくない。
以前住んでいた自治会は役員さんもみな良い人でした。今のところは活動がよくわからないし参加した いという気持ちになれないくらい役員さんは挨拶もしてくれません。
体力的に日常生活ようやくこなしているため。

問 18 (1) その他
障がい者になったため、行動に制限がある。
高齢のため。
高齢により。
日赤に参加していましたが、内容的にお話し合いの様で昔の活動と違った様です。グループの様になっている。
体力的に無理になった。
年齢的な事。
興味がない。
高齢になってきたため。
健康や体力。
体調がよくない。
足が悪いから家からあまり出来ない。
貴重な休みを割く必然性を感じない。
健康上の理由。
高齢のため参加は厳しい。
仕事ためをしているため。
親の介護。
住民票は江別市だが、在住は東京。
自治会から抜けたため。
体力的に難しい。
80代の半ばとなり体力がなくなり自由に体が動かなくなった。
参加する余裕がない。
高齢の為。
身体的に無理。
体力がない。
自治会は排雪と街灯以外はいらないと思う。
仕事だったりするので。
体力等に自信がない。
仕事で参加出来ない。
ボランティアの募集が見られない。
介護しているので。
身近に、たくさんの方が、自然に目に着く方法だったり、簡単に参加出来る最初の入りやすさだったり、工夫できるのではないかと思います。
今までは仕事と家事教育に追われていたがこれからは参加しようと思う。
参加することによって、煩わしい対人関係が生じ、自発的参加であるはずなのに拘束される心配がある。
仕事をしているので、参加できる時間がない。

問 19. まちづくり活動に参加するにあたって何が必要だと思いますか。（3つまで選んでください）

まちづくり活動に参加するにあたり必要なことについて、「参加するきっかけ」が42.1%と最も高く、次に「時間」が41.8%、「活動に対する興味や関心」が41.6%となりました。



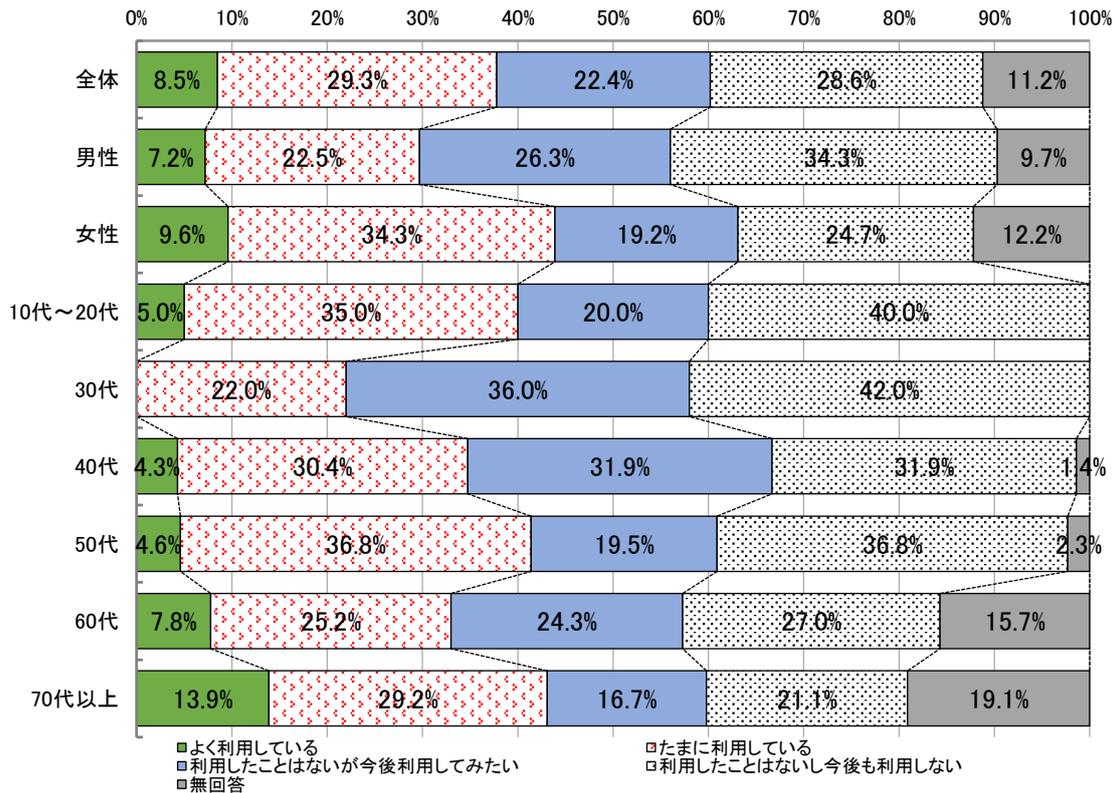
問 19 その他
高齢だと参加できない。
参加しやすさ。
こころの成長。
参加したくなる内容、意識付。
役立っているという喜び。
本当に必要な活動である事。
交通機関について考えて欲しい。
活動によって得られる市民の利益の形を明確にする事。
参加しなくては！と思う様なきっかけ。
高齢化しますます目も悪くなり聞こえにくく、歩行も危ない。
自分の家の事以外に働く事を嫌がる男が多い。我が家は今違いますけど。
札幌市に勤務しており、参加が厳しい。
余裕のある収入。
江別北海道を盛り上げようという意識。引っ張っていく側がそういう気持ちが強いと違う気がします。
それが絶対に必要だという認識が必要。（金がないと生活できない…みたいな！）
オンラインやリモートでの参加。

問 20. 問 19 の設問にある「2. 活動する場所」として次の施設を利用したことがありますか。

(1) 公民館・住区会館（自治会館）

公民館や住区会館は、「よく利用している」、「たまに利用している」が全体で 37.8%となりました。

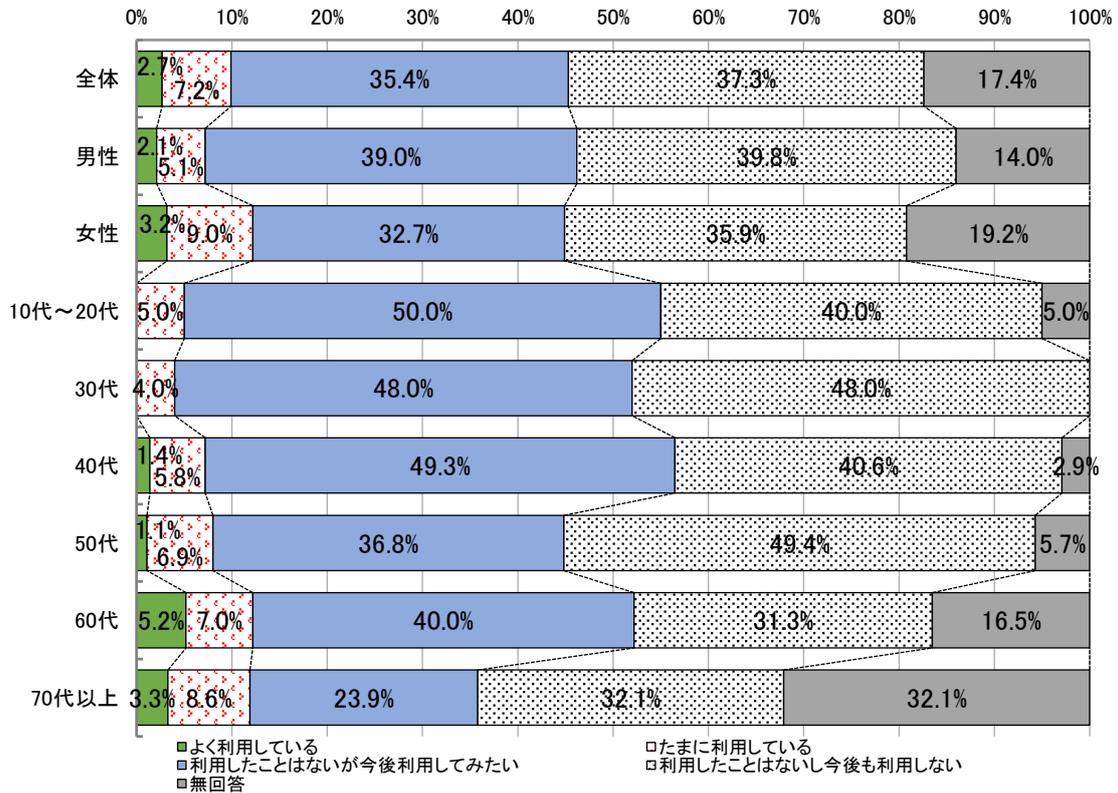
「利用したことはないが今後利用してみたい」が全体で 22.4%となり、合計で 60.2%は利用に関心がある回答となり、特に 30 代の 36.0%は「利用したことはないが今後利用してみたい」と回答しました。



(2) 市民交流施設「ぷらっと」

市民交流施設「ぷらっと」は、「よく利用している」、「たまに利用している」が全体で9.9%となりました。

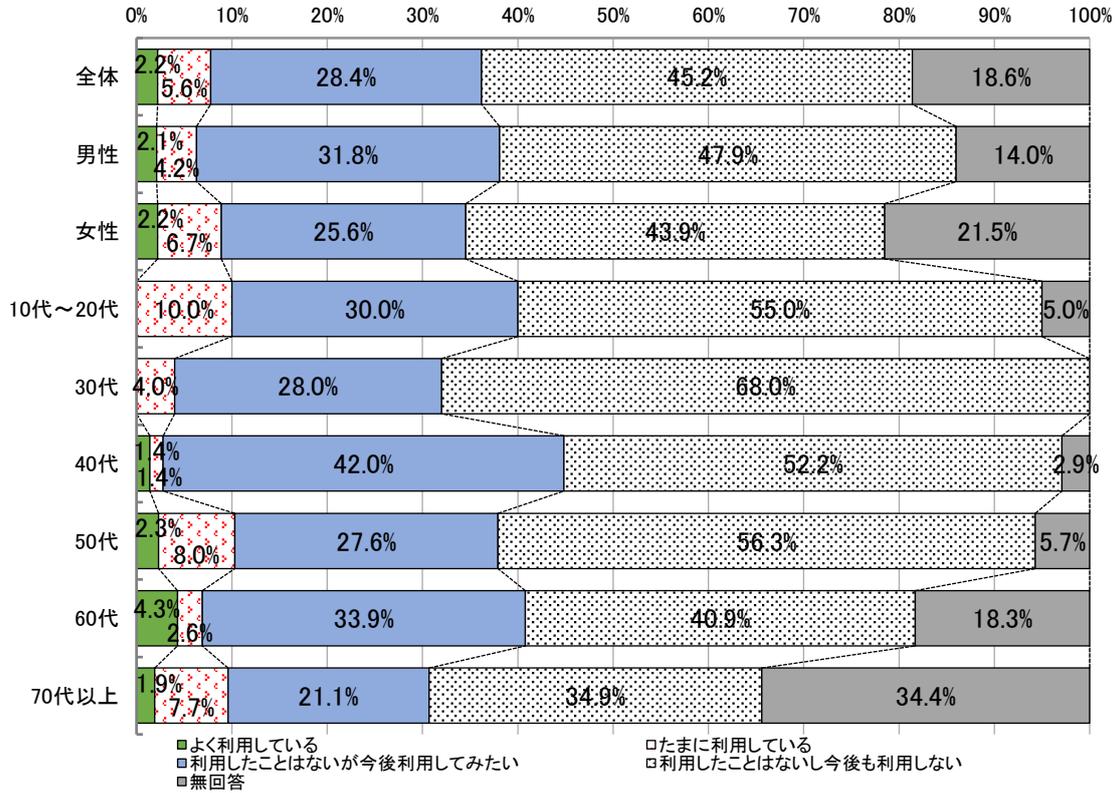
「利用したことはないが今後利用してみたい」が全体で35.4%となり、合計で45.3%は利用に関心がある回答となり、特に10代～20代は50.0%が「利用したことはないが今後利用してみたい」と回答しました。



(3) 江別市社会福祉協議会

江別市社会福祉協議会は、「よく利用している」、「たまに利用している」が全体で7.8%となりました。

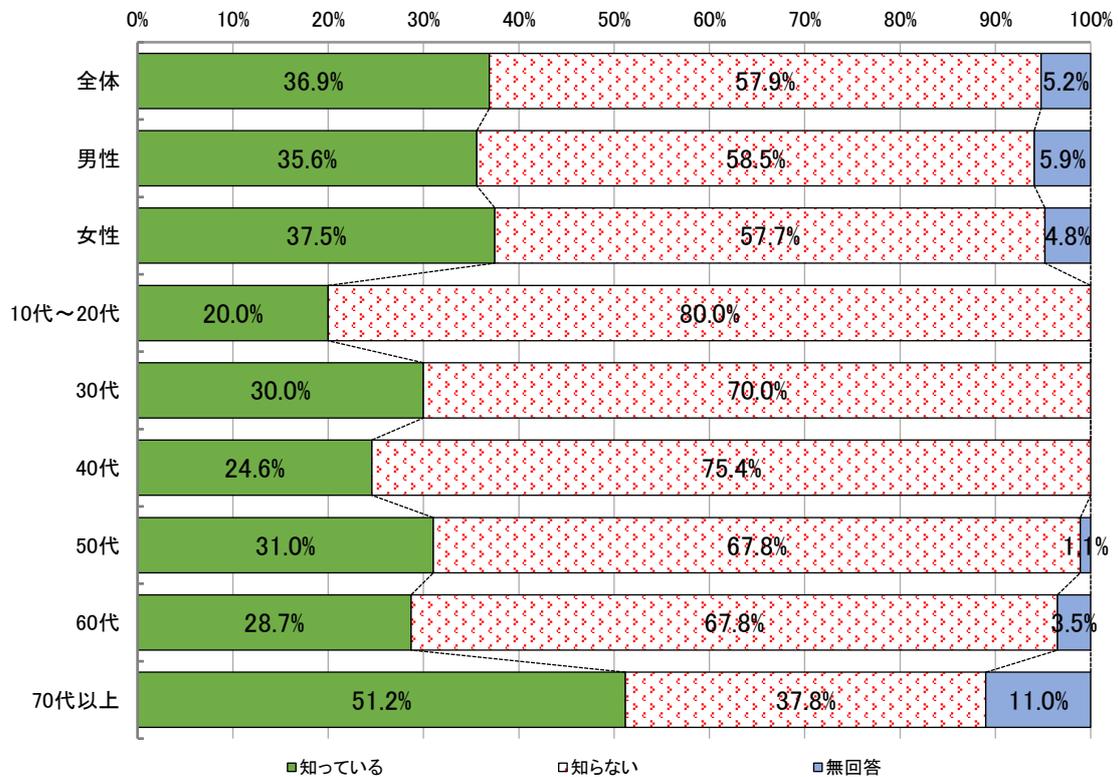
「利用したことはないが今後利用してみたい」が全体で28.4%となり、合計で36.2%は利用に関心がある回答となり、特に40代の42.0%は「利用したことはないが今後利用してみたい」と回答しました。



問 21. 広報えべつで毎月、協働のまちづくり活動を紹介していることを知っていますか。

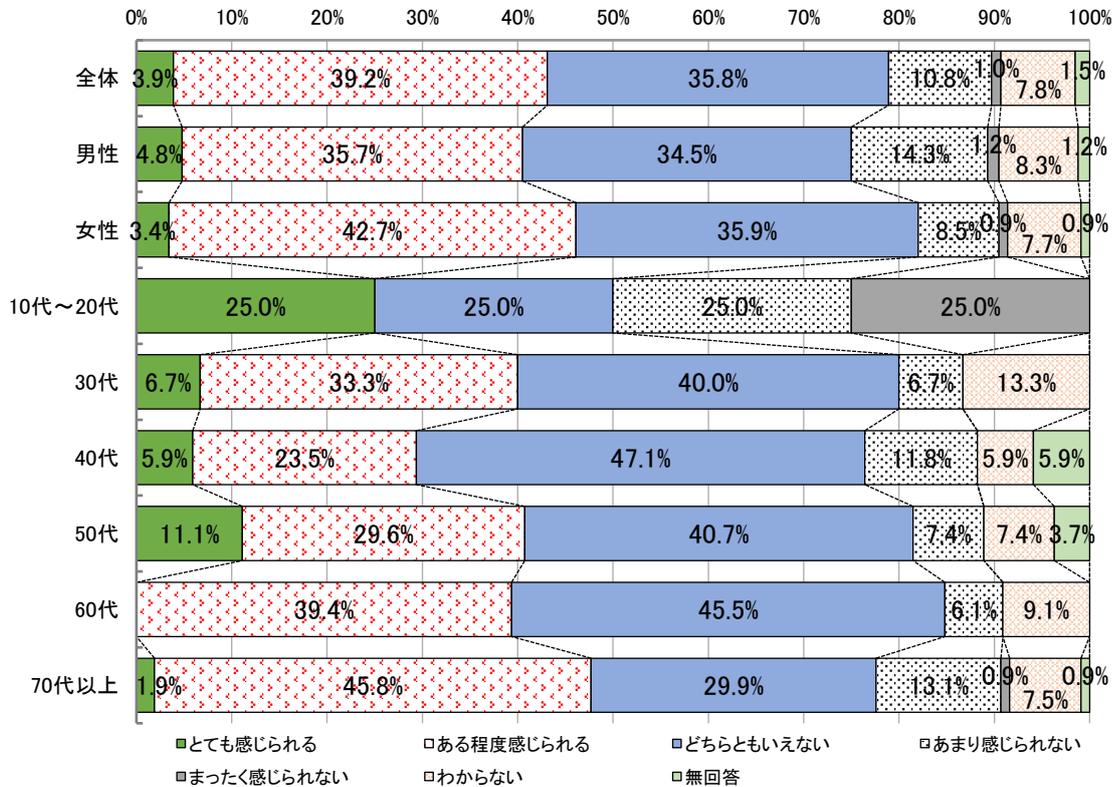
広報えべつで協働のまちづくりの活動を紹介していることについて、「知っている」が全体で36.9%、「知らない」が57.9%となり、半数以上が「知らない」と回答しました。

70代以上は51.2%が「知っている」と回答し、全体の平均よりも14.3%高くなっています。



問 22. 活動紹介を読んで、協働の活動を身近に感じることができましたか。

広報えべつで協働の活動を身近に感じることに、「とても感じられる」、「ある程度感じられる」が全体で 43.1%、「あまり感じられない」、「感じられない」が全体で 11.8%となり、「感じられる」と回答した割合の方が高くなりました。



問 22 理由	
とても感じられる	簡潔でわかりやすい。
ある程度感じられる	通院中なので控え目な回答ですが。
ある程度感じられる	区長さんがとても良い方でいろいろ知らせてくれて、手助けの核になっていると思う。
ある程度感じられる	地区の事はわかります。広報で感じます。
ある程度感じられる	活動している様子をみていたので。
どちらともいえない	マンション住まいで戸建て住宅との違いを感じない事が多い包括センターのマンションだけの会議は有意義だった。
あまり感じられない	今回改めて広報えべつで協働のまちづくりを読み返しました。スペースが小さく、内容がわかりにくかった。(主体は誰。大人もメンターとして参加可。とは?) 時々で良いので特集のように詳しく取り組みを紹介した方が周知されると思う。
あまり感じられない	自分の事として受け止められませんでした。
あまり感じられない	身近に感じられない事業内容が多い。対象事業の内容がわからない。実施に至るまでの経過などをわかりやすく解説してほしい。

問 22 理由	
わからない	申し訳ありません。協働活動に知識もなくただこういう事もしているという感じで協働と結び付けて読んでいなかった。

問 23.8 ページ (*2) にある条例第 25 条「市民協働の推進」の条文について、ご意見があれば記入願います。

問 23 ご意見
市民が協力するとあるが、ある意味市の一方的な事に聞こえます。
言いたいことはわかりますが、もうちょっとわかりやすい（平易な）表現にした方が様々な立場、年齢の方々に伝わると思いました。
条例とのつながりを考えたことがなかったです。
社会生活の中で、公共の福祉に反さないように心がけているが、近い人住民とのつながりがなく、協働でなにかをするという意識がない。
具体的ではない。
広報えべつに記載してあるのは、見逃していました。
体力的に意見交換などの場へは出かけられませんが、アンケート他では協力できると思います。
時間がない！忙しいです。あまり読んでいないです。
申し訳ありません、知りませんでした。
知りたい人に知りたい情報が届けばそれで良いと思います。
市民活動に参加できる時間の無い方も多いと思いますし、年齢によっては物理的にも無理な方も多い。
不便な事、意見等、もっと気軽に出来る意見箱のようなものがいろんなところに沢山あるとよい。
なかなか自分に関する欄以外は見る機会がない。
具体的なイメージが出来ない、協働のまちづくりとは例えばどのようなことなのか、身近に感じない、やりたい人がやるという感じ。
身近な自治会の活動で市民の声の集約ができるように内容のわからない負担金を減らして頂き、自治会内での活動に使える様にしてもっと早くに市への伝達ができるように、上部自治連をなくして欲しい。補助金、負担金全く足りない。
広報えべつがどこでもらえるか知らない。家に配られないので入手出来ない。
今月号で知りました。とても素晴らしい市と思っています。これからは心に留めたいと思いました。ありがとうございます。
住んでいる人が地域をよく知っているという事はないので、何とも寝に帰って来ているだけの人もいるし、子ども時代に行政に興味がないように育てられた世代にはハードルが高いと思います。
市の活動に参加するには何かきっかけがないとなかなか 1 人で参加したいと思わないので気軽に参加できるきっかけがあるといいと思った。
長いし、難しく書かれていて読む気をなくす。若い人ほど文章を読まなくなっているのもっとわかりやすく。
作りのには問題ないと思います。
条文では出来ること、しなくても不利益を与えないことだけでは参加する意識の醸成はされない。義務にすることは難しいので、他の方法を検討するべき。モチベーションに繋がる施策やインセンティブを考えるべきだと思います。
どこでどのように行われるかわからない。
イギリスみたいにゆりかごから墓場までの条例くらいになってほしいですね。
堅苦しい。
広報も 4 月に配布するときに QR も添付し必要な方のみ班長さんが配る形式でよいのではと思う※付属のリーフレットやごみの収集の予定表なども。
具体的であること。

問 23 ご意見

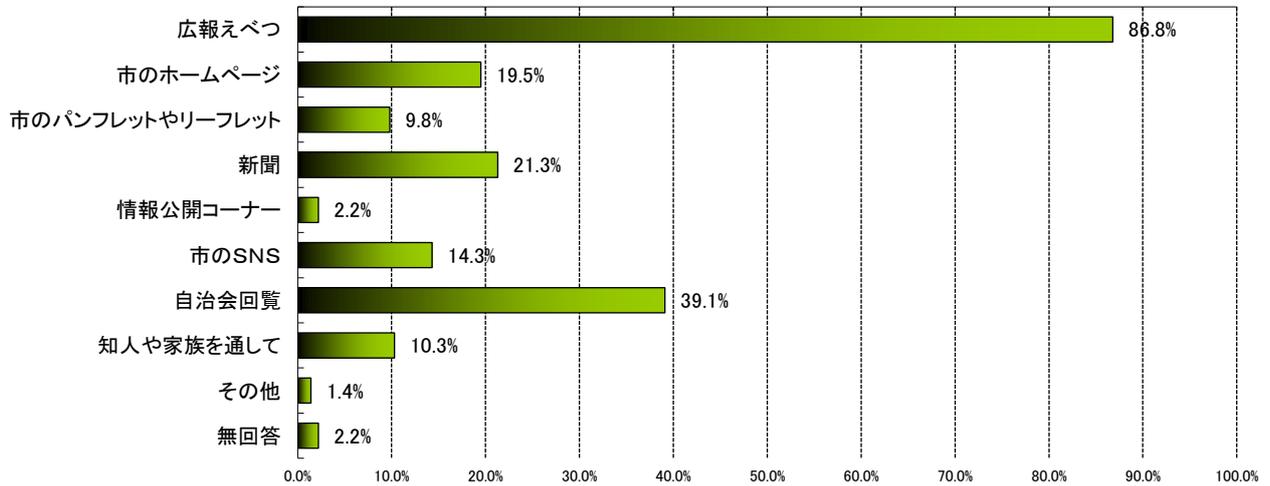
広報をじっくり見ていない。

あくまで自由参加というスタンスなので強制感がなくていいと思う。ただ、そうすると参加する人、しない人の差がはっきり出てしまう。参加したいのに仕方がわからない、勇気が出ないという人たちへの働きかけができたらいと思う。

4. 情報共有について【問 24～問 26】

問 24. 江別市からのお知らせは、主にどのようなものを利用して入手していますか。(特に利用しているものを3つまで選んでください)

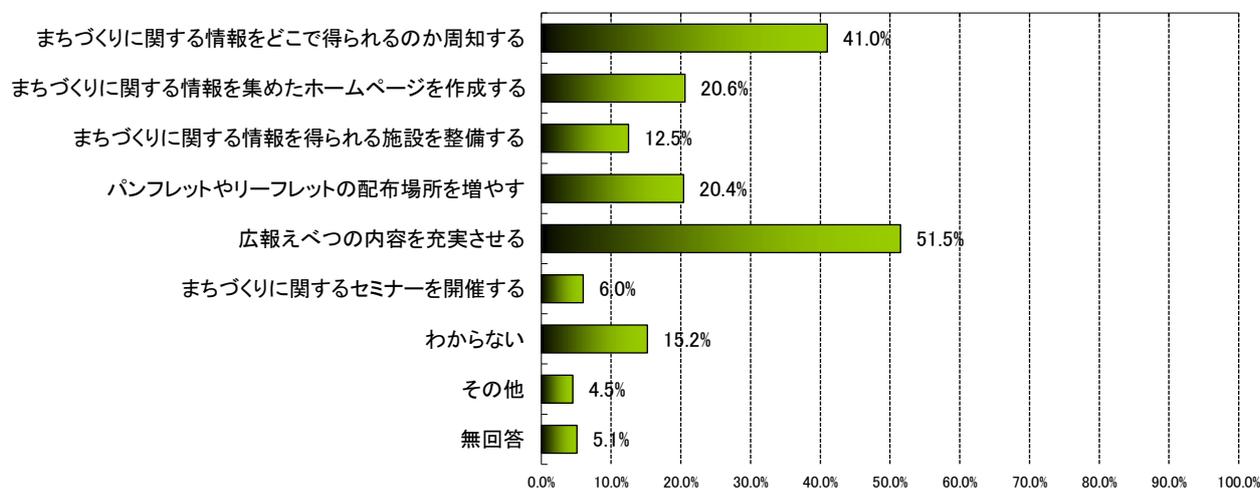
江別市からのお知らせは、「広報えべつ」が86.8%と最も高く、8割以上が回答しました。次に、「自治会回覧」が39.1%、「新聞」が21.3%となりました。



問 24 その他
LINE。(2件)
全く利用していない。
ぶらっと。
各々の自治会役員交流への参加。
入手しない。
駅などのポスター。
郵便物により。

問 25. 江別市や自治会、活動団体などが行っている、まちづくりに関する情報を得やすくするために何が必要だと思いますか。(3つまで選んでください)

まちづくりに関する情報を得やすくするために必要なことについて、「広報えべつの内容を充実させる」が51.5%と最も高く、次に「まちづくりに関する情報をどこで得られるのか周知する」が41.0%、「まちづくりに関する情報を集めたホームページを作成する」が20.6%となりました。



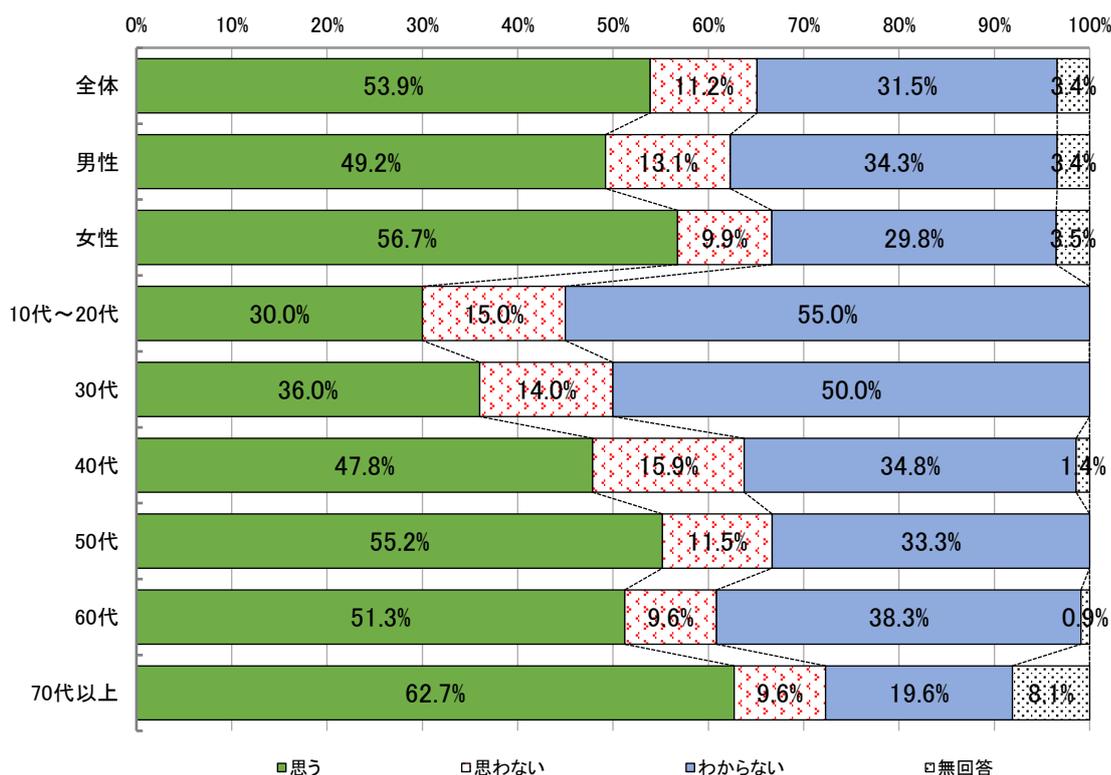
問 25 その他
市民各家庭への広報えべつのポスティング。
SNS 運用。
自治会に入っていない人には広報は配布されていないので市民全員に自治会の入会有無に関係なく配布する、市の税金で作成しているので配布される権利がある。
自治会役員会への講師の派遣。
インスタなどの SNS の作成。
チラシを各家庭に配布、回覧板。
SNS。
情報共有の為、ウェブ化の推進。
SNS の活用。
LINE などの SNS での発信。
わからないが、1~4 ではないと思います。お金がものすごく出る気がするし、ムダになるものもあると思うので。
今は買物帰りに野幌駅の所にある市民交流施設「ぷらっと」で休みながら調べる。
週刊新聞にチラシとして入れる。
いつでも読めるというだけでは無く、いつでも映像でも見られる様に整備する。
ネットでどんどん公開する。小中学校でネットの勉強をする時に安全なサイトとして、サイト内検索の練習用として市のサイトをたくさん使ってもらう。そうすると、子どもが情報の取り方を学び、親に教える事ができる。ネットに入った時のルーティンにして貰えるくらいの良いサイトにする必要が有るけど。
市民、住民が興味を持つ活動内容や企画。
WEB の充実。
自治会への情報の対応などを指導する。
沈黙は徳。蠅を寄せたければ、臭い物（者）を用意すると良い。すぐ寄ってくる。
SNS や YouTube などを使った情報発信。
LINE。
ユーチューブ
口コミを上げられるような媒体や機会を増やすことが重要だと思います。
YouTube などの作成。
インターネット、インスタ。
土曜、日曜に情報を得られる場所及び方法の周知。

問 26. 江別市のホームページや広報誌は、あらゆる年代の方にとってわかりやすい内容になっていると思いますか。

(1) 広報誌

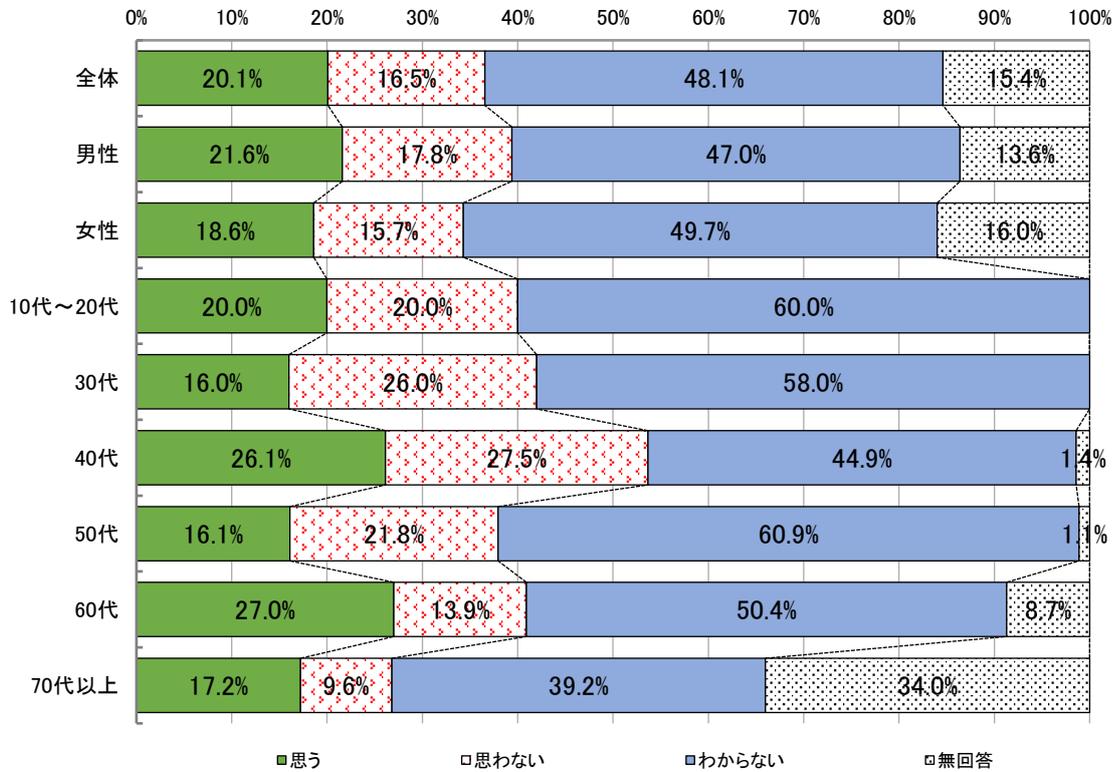
広報誌の内容があらゆる年代にとって分かりやすい内容になっていることについて、「思う」と回答した割合は全体で 53.9%となり、およそ半数以上が「思う」と回答しました。

70代以上は「思う」と回答した割合が 62.7%と最も高く、年代が高くなるほど割合が高くなる傾向があります。



(2) ホームページ

ホームページの内容があらゆる年代にとって分かりやすい内容になっていることについて、「わからない」と回答した割合が全体で48.1%となり、およそ4割以上が「わからない」と回答しました。



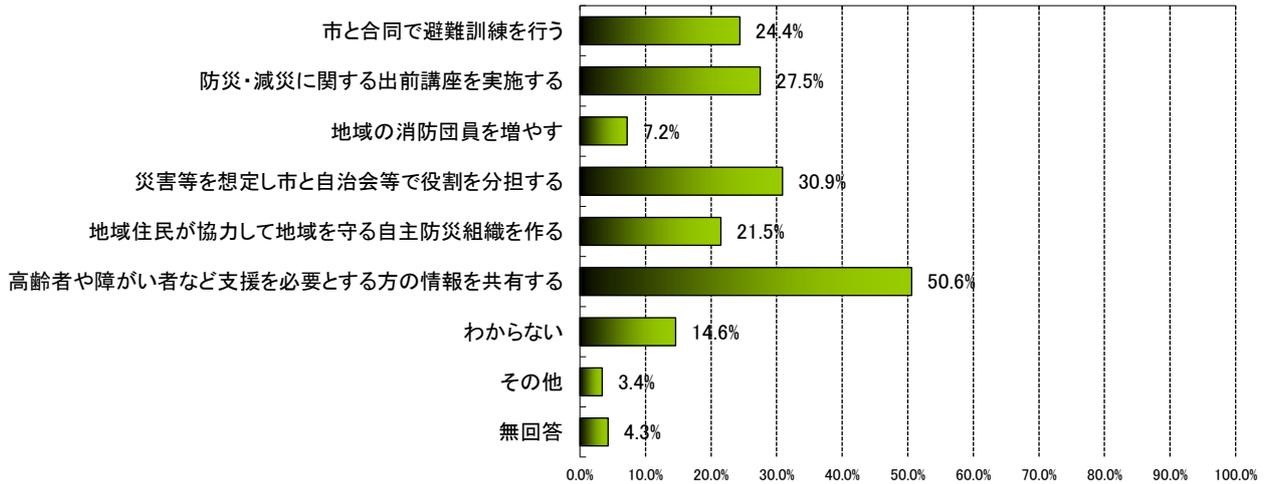
問 26 「思わない」と回答した理由
高齢者でネットを見ない方達には伝わらないから。
見づらい、AI チャットにはしては。
今イチ見づらい。
ホームページをみると見やすいのかもしれませんが、スマホで見た時少し見づらさを感じます。スマホ版があればいいと思いました。
パソコン等を使いこなせない老人にとってホームページはわからない。
HP は特にわかりづらい。内容をもう少し工夫しても良いと思う。
文字情報が一画面に多すぎて自分に必要な情報にたどり着く前に疲れる。
ホームページは少し使いにくいと感じたため。
ものすごく見にくい、必要な情報にたどり着けない、スマホ対応にしていないページがある。とにかく見にくい。
ネットでゴミ分別を載せてもわかりづらく、電話で確認した方が早いです。ホームページはあてにならない。
ホームページは知りたい情報はどこから探せばよいかわかりづらい。
HP の見方がわからない人がいる。
高齢者が多い。
文字が多く、目的の情報までたどり着きにくい。渋谷区の HP のようにアイコンで表現させた方が良かった。
ホームページは見づらいです。変に縦長で文字が見づらい。
誰でも（どの年代でも）ホームページを利用できると思う事は間違い。利用できない年代が多くなっている事をもっと考えるべき。
広報誌の見せ方が平たんで深読みしづらい。ホームページから知りたいことが検索してもすぐたどりつかない。
ホームページを見ようと思わない、江別市の新情報などラインなどで魅力的なタイトルがあれば見るかも。
高齢者の待遇が遅れている。
そもそもホームページを開かない年代はご近所にたくさんいる。もってないし。自分たちも 60 も過ぎれば身体上の都合で開かなくなる。みな年をとるので、ホームページがわかりやすいか以前の問題でもある。
見る人の立場で考えられていない、1文字の大きさが変わる、小さい、欲しい情報を見つけるまで手間。
AI、チャットボットが必要だと思います。
ホームページを利用した事がない。
あまり見る機会がないし、わかりづらい。
広報誌はあらゆる世代に理解されない。ホームページはコンテンツが多すぎて目的の場所がわからない。
広報誌は字を大きく簡潔に ホームページは検索の精度向上。
そもそも、あらゆる年代にというのが無理である。超一流の広報屋でもそこは達成できてないと思うよ。田舎の市でそれを目指す事は否定しないけど。
使いづらい。
幅広い層なので、固い文章は仕方ないと思うが、時代に合ったもっとユニークな物であっても良いのではと思います。

問 26 「思わない」と回答した理由
字が小さい。高齢者は PC をあまり使わない。
広報は文がわかりづらい、HP はどこに目的の情報があるかわからない。
ホームページを見たことがない。
じじばばが好きそうな雰囲気なので、若者が見たがらない。
ホームページは見られない方がまだまだ沢山います。そして字が小さいと読むのが無理になります。
ホームページ使いづらいです文書ばかり。検索面倒です。
ホームページで調べてもいつもよくわからなくなる
知りたい情報にアクセスしにくい、リンクが複雑。
トップページから必要な課のページに飛べるようにし、写真を載せて視覚情報を増やすとわかりやすいと思います。
文字ばかりで読む気にならない。
情報が少ない。
変わり映えがなく改善がない。各年代や需要に合わせたアプローチが必要。
今、思い出せないが、欲しい情報が得られなかった事があったとの記憶がある。
最新の情報はすぐみつけれれるが、過去の情報は見つけづらい。
情報の更新が少ない。
以前に検索したい事があった時、スムーズに辿り着けなかったため。
あらゆる年代ではないので。ホームページはあまり見ない。
HP は年配の方にはわかりづらいかと思う。広報は字の大きさや色合いなど、読んでみたいと思えない。

5. 危機管理・防災について【問 27】

問 27. 市民の防災・減災※意識の向上や災害弱者への支援について、市が自治会等と連携を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

市が自治会等と連携を図るために必要なことについて、「高齢者や障がい者など支援を必要とする方の情報を共有する」が 50.6%と最も高く、約半数が回答しました。次に「災害等を想定し市と自治会等で役割を分担する」が 30.9%、「防災・減災に関する出前講座を実施する」が 27.5%となりました。



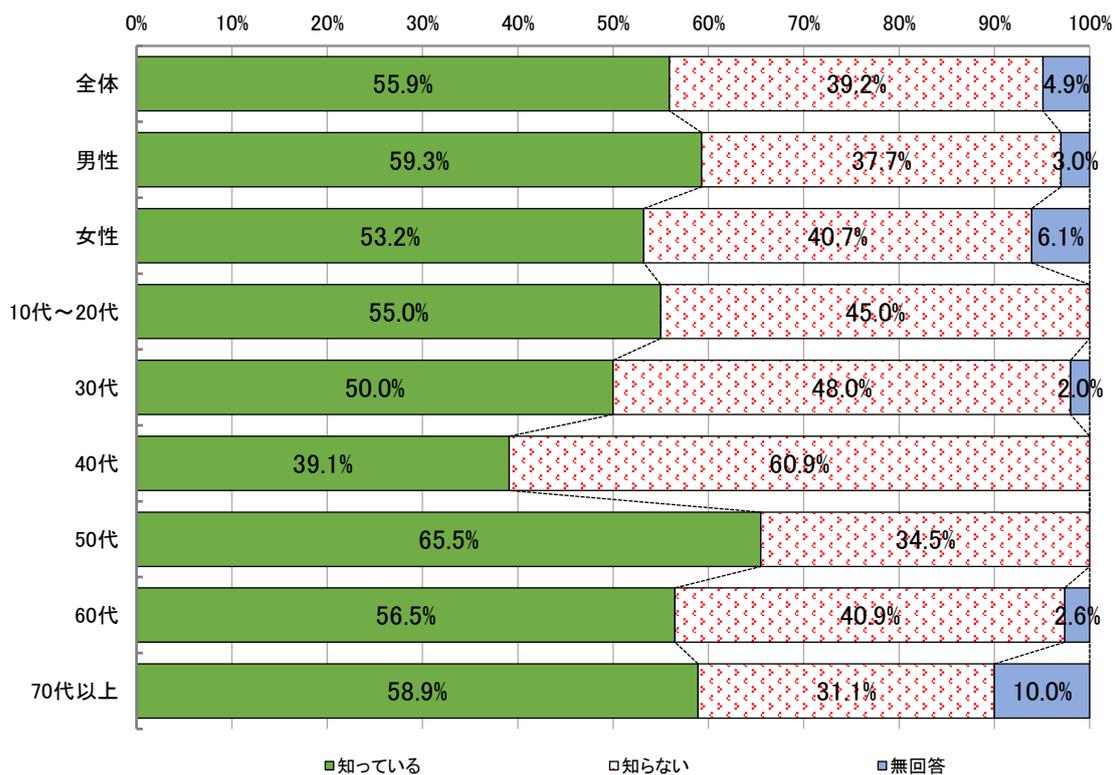
問 27 その他
防災無線。
動画などによる発信。
防災用品をどこにどれだけ備蓄してあるのかを知りたい。
自治会等避難場所に備蓄品（ベッド、食品、簡易トイレ、石油ストーブ等）を確保するあるいは強制的にさせる。
各自が最低限自分で出来る事をするしかない「高齢者や障がい者など支援を必要とする方の情報を共有する」は個人情報で難しい。
自治会ごとのマニュアルを作り各家庭に配布する。各災害で困ったらどうしたらよいか。
戸建て、マンション、住宅地、商業地、市、自治会、消防等の連携や個別の協議が必要。
有事の際、手助けが必要な方をどのように安全に誘導するか自治会での話し合いは大切だと思う。
DX 的サポートが必要。
デジタル庁で新しい試みを始めているので、それをどんどん取り入れる。人が足りないのだから、どんどん AI も利用する。
動物も一緒に避難を。
避難経路などの情報共有。
ハザードマップ等の配布と説明、新築の際の説明不足。
身内で経験するとすぐ覚える。
避難場所の設備説明会や実際に泊まりで使ってみる機会を設けるなど
受けとる側の認識や理解を得るのは難しいと思われます。上から目線では伝わらないし興味がないと馬耳東風となる。何か自分に何の関係があるのか知らないと、不利益を被ることを理解されることが必要だと思います。
個人の知識と備えを充実させる支援を行う。
「自治会」という組織名は将来無くなると思うのでそれに特化したそれぞれの組織づくりの基盤作りが急務と思われる。
上記項目はある程度実施されているが、市民意識として過去大丈夫だったから今後も大丈夫との思いで防災への興味が薄い人が見受けられる。また、何かあったなら、市が何とかしてくれると思っている人もいると思う。
あらかじめ利用可能な頑丈な建物を選びこれまでの学校の体育館とは別の避難所を用意しておく。

6. 情報公開・個人情報保護制度について【問 28～問 30】

問 28. 情報公開や個人情報保護制度があることを知っていますか。

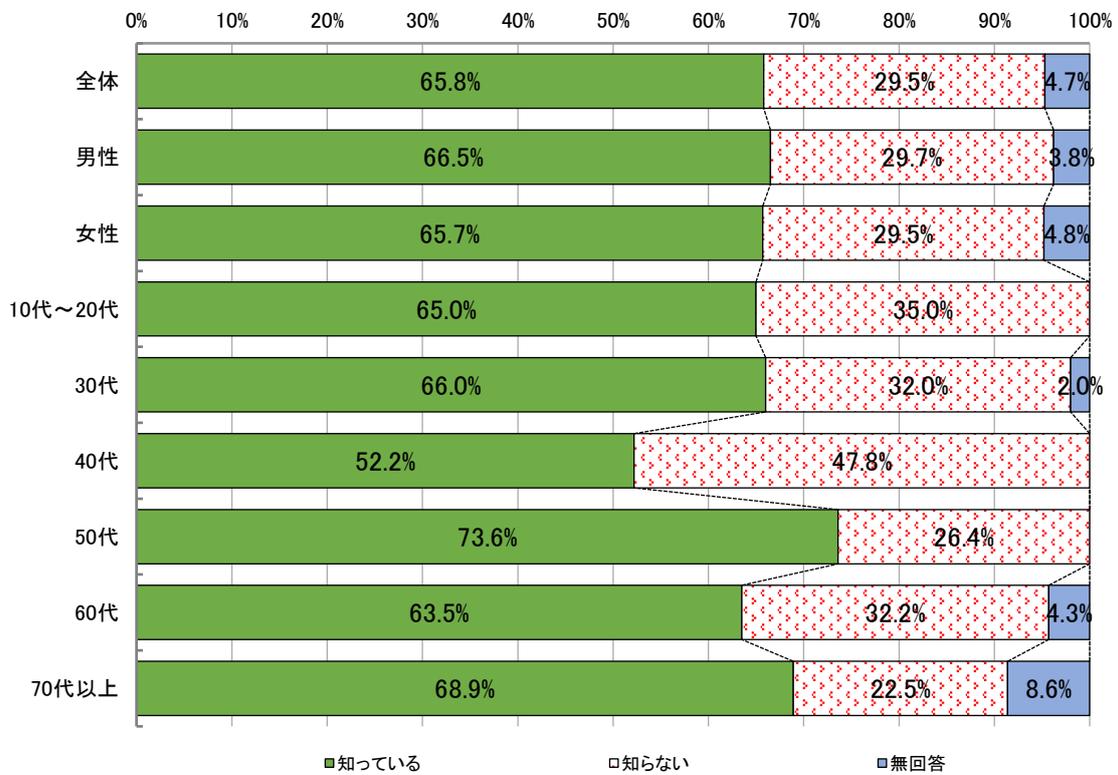
(1) 情報公開制度

情報公開制度の認知度について、「知っている」と回答した割合が全体で 55.9%となり、約半数以上が「知っている」と回答しました。



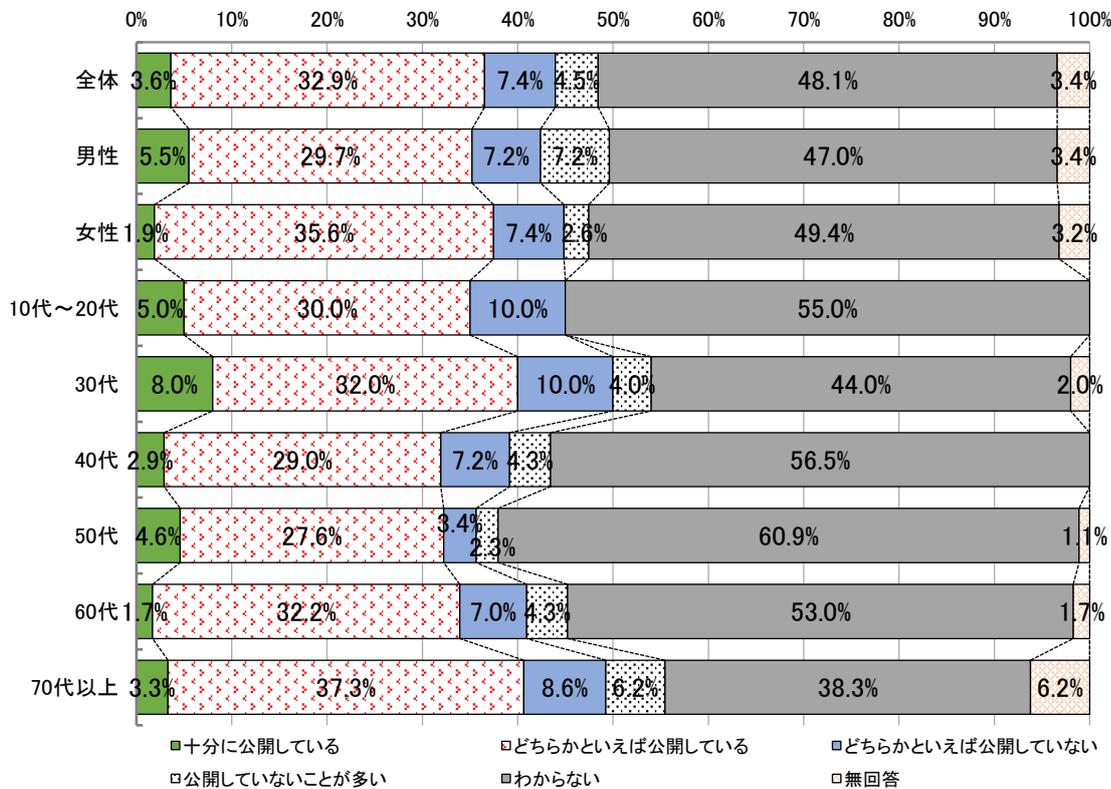
(2) 個人情報保護制度

個人情報保護制度の認知度について、「知っている」と回答した割合が全体で65.8%となり、およそ6割以上が「知っている」と回答しました。



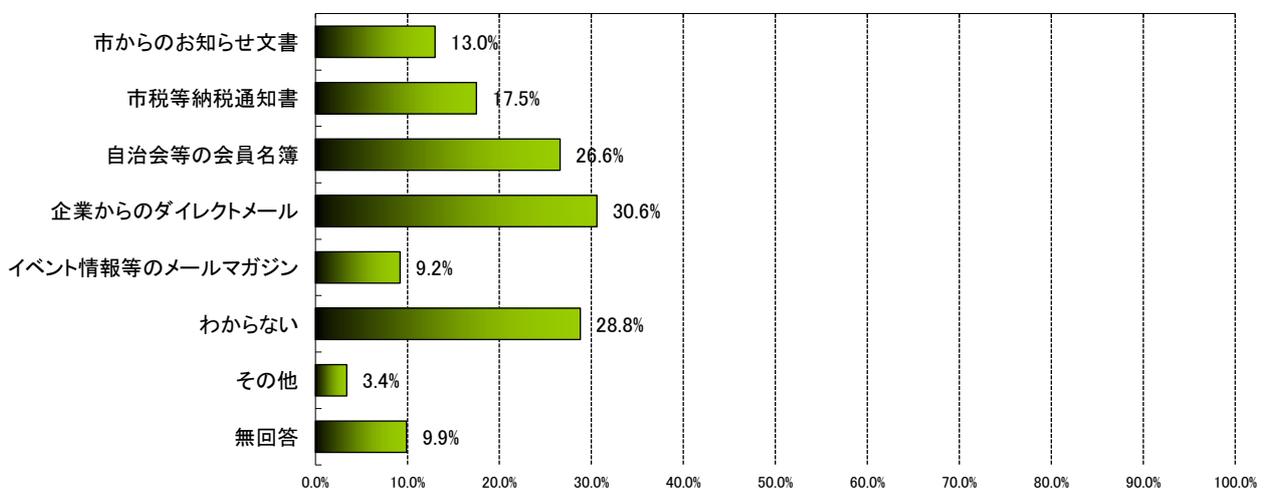
問 29. 江別市では、市民が知るべき情報を十分に公開していると思いますか。

江別市が市民へ知るべき情報を十分に公開している点について、「十分に公開している」、「どちらかといえば公開している」の割合が、全体で約 36.5%となったが、「わからない」と回答した割合が、全体で 48.1%となり、「わからない」と回答した割合の方が高くなりました。



問 30. 次のうち個人情報適切に保護されているか不安になるものがありますか。(複数回答)

個人情報適切に保護されているか不安になるものについて、「わからない」を除き、「企業からのダイレクトメール」が 30.6%と最も高くなりました。次に、「自治会等の会員名簿」が 26.6%、「市税等納税通知書」が 17.5%となりました。



問 30 その他
特にない。不安になるものはない。(4件)
わからない事があれば市役所の係の方に電話又は役所に行き、お話を聞いたりしています。
固定電話を撤去した。
だいたい保護されていると思う。
マイナンバーカード。
LINEなど。
デジタル決済は常に心配だけど、それを言ったら納税も出来ないよね。
適切に運用されていると思います。
個人情報により得られる利益もあるので、適切に活用されていることを周知し、事故等があったら情報を公開する必要があると思います。
市からのアンケートが毎年のように来ます。全て別の課から届きます。回答する家庭、もしくは人物だと情報が流れてないか気になります。
マイナンバー。
問 27 に関連し防災、減災においては支援を必要とする方法のプライベートとの関係が難しいと思う。

7. 自由回答【問31】

問31 今後の江別市における市民自治、市民参加、市民協働、自治基本条例の内容など、まちづくりを進めるうえで、ご意見があれば記入願います。

江別市における市民自治、市民参加、市民協働、自治基本条例の内容などに関して、108件（特になし3件を除く）の回答をいただきました。

以下は回答となります。

問31 回答一覧
今まで知らずにいた様々な活動を今回改めて知ることとなり、興味を持ったが、自身の健康上の理由により、進んで参加することができず残念ではある。
自治会を退会する人がポツポツと増えている。災害が増える傾向にある今、昔ながらの「となりぐみ」のような関係を作るのは難しいのか？
現役を引退して生活に余裕が出来たので今後は市民活動に参画していきます。
条例を作っただけでは市民参加や協働は進まないの必ず見直しをしっかりと行うことが大切だと思います。条例の作りっぱなしにならないように。
市役所は必要最低限の事だけに確実にやれば良く、市民生活を苦しめることでなければ自由にやったら良いと思う。
現在生活保護を受けているが生活保護課のミツハシなる男からひどいパワハラを受けている。どうせお役所同士、なあなあに済ませるのだからこんなアンケートは意味がないし金の無駄、そもそもそんなお金があるのならゴミ袋の値上げを撤回してほしい。
特にありませんが大変だと思います。よろしく願いいたします。
明るい江別市にしてほしいです。
今まで他人事でした。今後は関心持って行きたい。中高生にもっとアピールするのが望ましい。
アンケートは今回が初めてで、こんな努力もされているんだなと感じました。
江別市が何をしようとしているか知らない、市長の名前も知らない。50年以上住んでいるが進歩しているのか？
この様なアンケート自体無駄のような気がします。
基本的な街づくりは江別市が真面目に取り組んでいらっしゃると思います。 「ぼこあぼこ」等素晴らしい施設も出来て予算を有効に使っている気がします。 他市町村からの移住者も増えているので、商業施設の誘致をもっと考えていけば市民もまちづくりに興味を持つのではないのでしょうか。
声をあげている人々の声をひろいあげることで進められることがあると思う。（その辺の高齢者とか中年、子どもにざっくりと聞く感覚で）
1人1人が豊かな気持ちになる街づくりをどのようにするべきか将来の不安を取り除くことにあると思います。クリーンエネルギーや子育てなど自治体として考えなければならないことが多いと思います。石狩市や北広島市見ていると将来のビジョンを見ての街づくりを行っていると思います。
・市内各所の道路の破損の補修の強化（市民からの情報提供窓口の設置） ・江別市管理施設の能力強化 ・市外住民もひきつけられるオリジナリティある施設、商業施設の設置
市役所、ハローワーク、やる気なし！ 就業が盛んであれば活気もある。市役所時代遅れ、ゴミ、水道、江別に住むメリットない。

<p>問 31 回答一覧</p>
<p>今日初めてパンフレットを拝見しましたが使用しているフリー素材の画質の粗さが気になりました。リーフレットは大丈夫なのに。そういうところにテキスト感を感じてしまいます。吹出しスタイルは見やすかったです。今の子どもたちは活字よりも動画になれているので今後動画で見られるものを作ると伝わりやすさが広がるのではないかと思います。ラジオ的な音声配信や Twitter (P15. 次の印刷は X にした方が良いかと) でスペースをやるのも面白そう。</p> <p>※この DM は無記名だが ID やバーコードで誰が書いたか分かるのかな? と疑問に思いました (最初、別紙の記載を読まなかったのでアンケートの冒頭にあると安心できそう)</p>
<p>江別市への要望は 1 つ。除雪の問題です。家の者も何度か除雪についてクレームの電話もしたが、あまり良くならないので、長い冬の間は本当に困っている。雪が降ったら道がガタガタにならないように早めに除雪してください。(車が壊れそうになるので)</p>
<p>江別に住んで 47 年になります。車イスの母の介護をしていた時、建物は立派でしたが (社会福祉)、不親切で好きになれませんでした。江別に住んで 3 年目くらいからその気持ちは変わらず、47 年経っても老人や体の不自由な方に対する特典もなく、他の市と比べてよくないと感じています。そのため、子どもたちに「江別に戻ってきて」と言える町、市ではありません。</p> <p>残念ですが、愛着の湧かない市です。ただ、ご近所やお友達には優しい方がいらっしやったので救いました。しかし、老後は江別に住むことができないので、出て行く予定です。</p> <p>地元で生まれ育った方々はお子様も江別に戻ってきて住み続けていますが、他から移り住んだ人が親子 2 代 3 代と住み続ける町づくりが必要です。私の周りの方々は、ご主人や奥様が亡くなると江別に愛着がないため、みなさん引っ越して行きました。地元出身者ではないからだと思います。</p> <p>他の市から移り住んだ人々が老後も安心して暮らせる町づくりをしてください。一時的に人口が増えても、未来のない町にならないようにしてほしいです。</p>
<p>若い方、特に 4 大学の学生が、江別を好きになり、定住してもらえる取り組みを今後も続けていければ良いと思います。また、居場所づくりについては、その必要性を周知していただきたいです。</p>
<p>江別市内にある公共施設の中で、老朽化が激しいものがたくさんある。これからもっと高齢者が増えていく中で、運動のできる施設は高齢者の健康推進のためにも改修・建て替えを早急に進めるべきです。</p>
<p>時代に合った市政は難しい、でも、昭和、平成、令和と確実に時代が変わっている以上、その時代にあった市政も何らかが変化しつつある。今望む市政は令和の時代を生き、生活して市民が良かったと思う時にはまた、時代も変わってくる。望むのは何事も精一杯の頑張りしかないから今で良いと思う。</p>
<p>冬の除雪・排雪をもう少し積極的に行うようにしてほしい。冬の除雪について翌朝の除雪を実施するか否かの判断が早すぎる (夕方頃?) ので、もう少し遅く (午後 9 時か 10 時頃) にしてほしい。特に大雪警報が出ている時は、夕方の降り方が多少弱くても夜中に強くなること多いので、翌朝は除雪をしてほしい。</p>
<p>「えべつ市民カレッジ講座」や「聚楽学園」等を「知行合一」の方向へと進めてほしいです。</p>
<p>私自身高齢のため繰り返し情報公開をお願いしたい。人手がかかる? もしかしたら無駄?</p>
<p>好きな街なので、よりよくなることを願っています。パブリックコメントでやばい人がいるのを見て、市の人も大変だなあと感じています。頑張ってください。</p>
<p>地域の課題解決を推進する為、自治会活動を活発にする意味で、市の助成をもう少し増やすべきです。</p>
<p>大麻に住んでいる 1 市民です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大麻駅北口前の標語のたっている花壇が 2023 年、2024 年の 6 月 8 日現在も花が植えられておりません。2020 年まではフヨウの花がたくさん咲いてきれいでした。今後どうされるのでしょうか。 2. 車道の白線は消えてなくなっています。早急につけてください。

問 31 回答一覧

昔はこのようなまちづくりは自然と協力し合って助け合っていました。時代が進化しているからこそ今はこのような事を大事に考えていかなければならない。ただ構成する人間の変化もあるので色々まとめてやっていくのには苦労はあると思いますが、これをやらなければ市として成立していかないと思います。地道に継続です。

安全で安心して暮らせる地域社会の構築がとても大事であるとする。市のラインでたびたび不審者情報として、警察と連携して配信しているがスピード感をもった情報提供をしてほしい。この頃多様性と称して外国人の受け入れに寛容で積極的姿勢が見られるが外国人による子どもや女性に対する声掛けが増えていることに危機感を感じている。大きな被害が増えないうちに、学校、警察、各行政機関と連携し、情報共有して被害防止に安全を期してもらいたい。自治会回覧板の活用も検討してください、市の危機意識はどの程度ありますか？外国人を受け入れるためには地域のルールに従ってもらう事が大事で従う事が出来ない場合は国に帰ってもらう事が大前提です。

文書は難しくなく簡単をお願いします。

喜んで参加できるような方法、たとえばポイント制みたいなことに、それは寄付になるような。

問 31 回答一覧

この度の「令和6年度自治基本条例アンケート」に対して、ロクに答える事ができませんでした。大変申し訳なく思っております。

「市政の主役は市民」と私も思っています。これは当然です。

しかし市役所の実際の対応はそうではないとも感じています。

それで私が以前から気になっている市役所と市民の市政に対する思いの行き違いについて少し書きますので読んでいただければと思います。

①テレビで放送される気象情報の気温の測定地は江別市の場合は市街地ではなく、ほとんど人の住んでいない郊外の野原です。このため特に冬期間には市民が受ける気温の実感とかけ離れた低い気温がテレビで放送されます。

市街地を遠く離れた野原の気温を江別市の気温としてテレビで放映される事は市民として不愉快であるし現実としても間違いです。

テレビで放送される江別市の気温は自分たちが住む処の気温であるべきです。

それで市役所に電話しました。本庁舎の玄関近くに苦情受付の部屋があり担当者がいると言われました。それで市役所へ行ったのですがこの苦情受付の担当者という男性がまた大変な人だったのですが、これは省略します。

苦情受付がやっとすみ市役所職員との話となりました。

このとき対応に出た職員は若い男性です。この職員は気象庁の職員でもないのに気象庁の言い分そのものでした。苦情を検討するでもなく徹底的に拒否しました。市民のために働く江別市役所職員の態度ではありませんでした。

市役所は市政に対して苦情を述べる市民に対していちばん下っ端の職員を対応に出してきたのです。これには私は驚きました。

市民の苦情に対して責任ある回答をするためには管理職でなければならぬはずで、最低でも課長クラス普通なら部長が出なくてはならないでしょう。

やはり市役所は市民を主役とは思ってないのです。そして市役所は市民の意見など本当は聞きたくないのだと態度ではっきり示しました。

しかし形だけは作らなければならないので苦情受付はあるという事でしょう。

私はこのような欺瞞にはあきあきしています。

②私は現在大麻元町という地区に住んでいます。以前はグリーンハイツと呼ばれていた処で三番道路に面した細長い長方形の住宅地です。

私はここに1990年頃から住むことになったのですが、グリーンハイツと呼ばれていたこの地区には既に町内会がありました。その町内会の名前は「大麻グリーンハイツ自治会」と言い今もその名前を使っています。

そして数年後、私は町内会の役員を引き受けることになりました。

ある日の事、前年度に役員をしていた人から主だった役員三入ほどに話したい事があるという連絡がありました。この人をAさんと呼びます。Aさんから話を聞きましたがそれは難問だった。

話は長くなりますが当時の状況を説明したいので……大麻グリーンハイツ自治会の町内は長方形です。長い方の一辺は三番道路に面し短い方の一辺は三番道路と四番道路の間までの約120mほどです。

そして三番道路から四番道路まではかなり急な下り坂になっています。この斜面の土地を住宅地にするため三番道路と四番道路の間にコンクリートで土留めを造り火山灰を入れて斜面を緩やかにしました。

この土留めと四番道路までは元のままの農地が残されたのですが、その一部の元農地でグリーンハイツ自治会の町内に接した元農地がいつの頃からなのか粗大ゴミの集積場になってしまったのです。

Aさんの住宅は元農地と接する土留めの上にあります。本来なら自分の家から美しい光景が見られるはずがゴミの山を見る事になったのです。

しかもある時、自然発火か人為なのかかわからないが粗大ゴミが燃える火災にもなった事があるそうです。自治会の家屋への延焼という危険もあり得ます。

それでAさんは市役所に苦情を言い職員に現場を見てもらったと言います。

ところがその職員は「他人(ひと)の土地をあしろ、こうしろとは言えない」と言ったのだそうです。

Aさんの驚きと怒りは理解できます。これでは市役所に頼れないと私も思った。農地の変更手続きを取らない転用で恐らく農地法違反だと思いましたがどのような手続きや流れになるのか見当もつかない。

市役所ができない事を我々ができるのか？Aさんから話を聞いた私たち三人はどうしたらいいのかわからなかった。

しかしAさんは違いました。次の年Aさんは町内会に志願して農地に広がる粗大ゴミ集積を無くす係となり数年かけてこれを実現したのです。

これが実現したのは何よりAさんの努力ですが、市役所も何か力を貸したのかもかもしれません。この事は私にはわかりませんが……。

③市役所との関係

私はこれまで自治会の役員を4~5回経験してきました。そして今年もまた役員を仰せつかっております。

役員の中でも福祉関係の役になると市役所の関連団体(外部団体?)との接触があります。例えば、「赤い羽根募金」の活動があります。また江別市総合社会福祉センターへも行ったこともあります。

これは「愛のふれあい交流事業」への参加という事にして、助成金をもらって自治会の食事会を計画実施しました。

これらの活動は自治会独自の活動ではありません。市役所が福祉のための活動を国や道から求められているからだと思います。

そのためか自治会に対して実施への要求が強いのです。

当時、私としては「赤い羽根募金」や「愛のふれあい交流事業」については市や市の関連団体に引き摺られたような感じが強かった。

それでこのような団体とはあまり接触したくないと云う気持ちがあります。

問 31 回答一覧
北広島市は今回エスコンが出てきて他設置も多くあり、自然と市と市民が互いに手を結んで活性化に取り組んでいるように思います。隣の街の江別市は地味です。もっと自然に恵まれていることなど生活しやすい事を全国に向けたアピール出来れば良いと思います。（江別市と江別市民に温度差を感じます）
広報誌など詳しく理解しやすい内容で。
移動手段を考えると不安になり行動できません。江別市に置かれまして本当に市民の為に始めて良くして頂いて感謝しております。ありがとうございます。
若者の関心、意見の繁栄をより多く受け取る発信を希望。
無駄なお金を使わずに進めて欲しい。このアンケートの郵送料、作成費、回答を促すハガキ等は無駄なのでは。
自治会の会員会費を江別地域同じ額でいいのではないのでしょうか
まちづくりで願う事は交通機関の充実、バスと JR のみで冬バスが遅れる。JR が止まると札幌から江別の通勤に支障をきたし、新千歳からの飛行機にもたどり付けられない事もある。 地下鉄直結のルートが欲しい。 インフラの整備と充実。
施設の老朽化が目立ってきた。（プール、体育館）
当事者でなく他人ごとになりがち、働く世代なら会社からアンケート提出を求められたりすれば意見を述べやすいかも。
アンケートに十分に答えなくて申し訳ありません。
除雪・排雪について説明会を開いてほしい。
自治会活動の必要が住民に理解してもらえる活動ができるように補助金を上げる。上部団体の必要性を見直し負担金を下げるかやめる等。市民生活課がもっと各自治会への聞き取りを増やし、現場の様々な声を聞いてほしい。 市長への返答も返信内容も全く答えにならず。
なんか市民は”責任をもって”と書いてあるのに市は”努めなければならない”って書いてあり変。市も”責任をもって”やってほしいなと思いました。なのに、市の方がえらい？感じがする書き方。どっちが主導権にぎっているかわかりませんね。これでは市民も行動しづらい気がしました。自分がこういう街にしたいと思った時、市は必要あるのかわかりませんでした。でも市民の「こういうまちにしたい」というアンケートを全世帯に配って頂いたらいろんな意見が出てもっと良い町になる気がしました。
江別市民として住みやすい地域づくりへの関心はあります。現在仕事と介護で時間がないが、いずれは活動に参加したいので今どのような事が行われているのか広報や市の施設でのチラシやパンフレットを見えています。市民の要望等を載せてどのようなニーズがあるか知りたいです。
江別市は若い夫婦が昔から居住している高齢者世帯が混在して住む地域と言える。よって防災や制度等の情報発信をする上で SNS 等の活用と年配の世帯については紙媒体による情報等の発信の 2 種類の方法が必要かと思う。
DX 的革新が必要。
冬の道路、除雪間口の除雪は市民が協力する量が多すぎる。（5 丁目通） 昔のままの除雪時間内にやらなければならないのはわかる。
大きな経済活動が広報などに載っていると思いますが、小さな道路改良工事などは早めに知らせて欲しいですね。
全ての市民参加を求めるならば、市主催の説明会や催事に（聴覚障がい者のため）手話通訳並びに要約筆記者配置を希望します。

問 31 回答一覧
交通機関についてですが、野幌駅辺り～江別辺りの線路を上に通して下を道路として通れるようにして頂ければ交通が便利になりありがたいです。
私の様な無知な人にも広く知られる様にするべき。
仕事をリタイアされた高齢の方や子育てが終わった方は積極的に自治会活動や市の行事等に参加されているイメージがありますが、働き盛りや子育て世代は、日々の暮らしに精一杯で自治活動に参加する余裕がないのが現状かと思えます。また、「まちづくり」という言葉だけだと少し抽象的で、具体的にどのような活動を指すのか生イメージが湧きにくく、敷居が高いように感じます。「防災」「景観づくり」「子育て」等、具体的な例を示してあるとイメージもつきやすいかと思えます。
ライン等でもっと知らせて欲しい。
野幌地区中心に町づくりが進んでいると思えます。大麻住民としては、バス路線、商業施設等高齢者には不便な街になっている。
問題は沢山あります。今年は子どもの教育について考え方が中心の様ですが、高齢者のための交通機関が一番だと思えます。 野幌公民館でのお話はありましたが、返答はまだありません。
このアンケートを機会にホームページ、広報誌を眺めるのではなく読み、考えたいと思えます。体力をつけ参加できるようになりたいものです。
まちづくりに当てはまらないかもしれませんが、ぽこあぽこは、無料で子どもがどこにいるのか見渡しやすく利用しやすいです。しかし、リニューアルオープンしてから更に混雑し、利用時間を区切るのは良いが、江別市民であるメリットが全くない。江別市外から利用する方も多く、江別市民は無料、それ以外は利用料金をとってもらい、江別に役立ててほしいです。
高齢者が日帰り旅行に行くための送りなど、何かしてくれるバスがないのでとっても上の方は大変だと思います。 前は温泉バスが迎えに来てくれた。今は迎えに来てくれる温泉バスは少ないです。何か提案はないでしょうか。 高齢者が病院に行くとか、買物に行くとか高齢者の割引券はないので考えて頂きたいです。ハイヤーの割引券を出している町もあります。
オンラインで誰でも気軽に参加できる様にする。参加できなくても後からアーカイブで確認できる様に する
市からのお知らせがわかりやすい内容、説明であって欲しい。
広報が必ず毎月手に入る発行日と場所を教えて欲しい。パソコンを持っていないのでホームページ見られない。
江別市のLINEで情報とても助かっています。
住みよいまちづくりありがとうございます。
フェイクでも良いので、「市民からの意見でこんなふうに改善されました」とか、「このような意見をもらって目から鱗でした」とかの感謝の言葉を公開し、謙虚な姿勢を見せると、市民も「じゃあ、教えてやるか」くらいの気持ちを持ってくれるかもね。今は、「意見をもらいましたが、何か？聞いておくれどやるかはわからねーなあ」みたいに思うよ。あちこちで聞いても、市が謙虚だとかは聞いた事がない。聞くのは、偉そうとか、協力的じゃないとかの話ばかりだよ。いくら良い話は当たり前だから口に出す事は少ないとはいえ、良い話、市を褒める、感謝する話は聞いたことがないなあ。某市のように「うちの市長は凄いよ!」って、一度くらいは自慢してみたいなあ。

問 31 回答一覧
<p>今回の様なアンケートを行う事により、条例について知ることができた。このようなアンケートを定期的に行う等でも周知できると思います。</p> <p>あとは広報えべつのような広報手段をもっと増やしていくなど（無料のマガジンを公共の場所においてみるなど）どうでしょうか。可能であればフリーペーパーを作成して江別市についてより知ってもらうようにするなど。</p>
<p>広報だよりはありがたいがもう少し、SNS 等がある事など周知できるかと思いかと思います。</p> <p>利用したいと思うような物など手に取りやすいとなお知る機会が増えるかと思っています。</p>
<p>活動内容自体を理解していないが、フリーな時間の少ない世代の参加は元々困難なのではと思う。</p>
<p>地元に参加したいと江別に帰った時は市議会や委員会の傍聴をしている。札幌は東京でのワークショップ開催があるが、江別市は市街に住む市民（私のような人間は特異かもしれないが）が参加する手立てがない。</p>
<p>若者が増える事。</p>
<p>毎年クロスカントリー大会を楽しみにしています。妻はボランティア活動で楽しんでいます。</p>
<p>興味がもてる情報発信これからもよろしくお願いします。</p>
<p>高齢化が進む中、何をすることも大変だとは思いますが、もっと若い世代が何事にも参加しやすい、環境作りへの工夫を考察して頂けたらと思います。（情報の共有強化、新しい事への取り組み、目に見えてわかる市の変化。）いつまでも住みやすい江別でありたいです！！</p>
<p>今は市立病院の運営について知りたいです。何にいくらかかっているのか、公開されていないと思います。</p>
<p>雪かき問題、雑草、道路のわきの雑草、トライアルの所の私有地、マンションの中の雪かきに市から助成とかないのか。近道に住民以外の人が多く利用している道路について。</p>
<p>一時預かり利用の月齢を2才からのところ少し減らして1才半などにすると使いやすい人が増えそう。</p>
<p>本気度の問題だと思う。</p>
<p>他の先進自治体において、成果や効果があった事業を江別市に合う形で実施に取り組むことで成功体験を共有し、全体の隆盛を高めるのが効果的。</p>
<p>「広報えべつ」はどんな家庭にも配られると思うので細かい内容は QR コードなどにしても今月、来月に行われる行事やボランティアなどをもっと載せてもいいのかなと思いました。何をしてもまずは情報を知らなければ動けないので。</p>
<p>自治会が任意とはなっているがほぼ強制のようなもので入らないとかやめると言いづらいのが困る。順番で班長などがほぼ強制のように回ってくるのも困る。WEB 等で今年は自治会に入るか入らないか選べると良い。</p>
<p>札幌への利便性の向上。江別だけではやっていけない。</p>
<p>SNS 用の動画編集や運用を僕がするにはどうすればいいですか！ SNS 案件など過去に受けたことあるので江別市にもそういう方向で関わって盛り上げたいです！</p>
<p>こう言ったアンケートがなければ、自分の住んでいる地域の取り組みを知る機会があまりないと感じるので、今後も定期的に送って欲しい。</p>
<p>昔はもう少しお祭りが大規模で楽しかったのですが、コロナ以降あまりなくて残念です。</p> <p>学生さんが多くいるので、小中学生への出前授業とか、放課後児童クラブの手伝い（有償）など、学生さんが多く活躍できる機会があると良いです。</p> <p>色々な年代の人が協力したら触れ合える機会があると良いですね。</p>

問 31 回答一覧

一時保育を利用するにあたって条件や決まりをしっかりと決めてない事によりネグレクトや育児放棄を目的で利用している人が多い。その事を市は全く知らない。リフレッシュを目的とした利用はわかるが毎日のように仕事もせず一時保育利用する親が多いことを知ってほしい。

興味を引くことが全くなく、参加したとしても1度きりで終わると思います。若い人の意見を少しも聞き入っていないと思うし、聞こうともしていないし、このような簡易的なアンケートで本当の回答が得られるわけがないと思います。パンフレットも1枚目めくったのみです。

よほどの強い興味がない限り、仕事を持つ現役世代には市民参加や協働は難しいのかなと思います。参加すると証明書が出て職場で公休扱いになるなどの仕組みがあると良いと思います。

江別市に住んで良かったと思える街作りが必要だと思います。そのため、行政だけで出来ないことを市民等が行うと言う主体的な活動が求められている。ただ、市民全員がそこまで意識が高くなくても実感を得られるようにするべきです。自分だけが思っているかもしれないが江別はJRの駅の数だけ街が分散していて、そこそこで(意識として)分断されているような気がする。駅毎に似たような施設を作っており、他の地域に行く必要がないからかもしれない。地域で完結してしまっている気がする。他の地域と交流するというより交雑しなくちゃいけないようにした方が結果江別市のためにはなると思う。そのためにも江別駅界隈の再開発、復興を図る必要があると思います。大麻地区の札幌化を払拭し江別に顔を向かうように出来れば、半分は成功だと思います。(住んで通学している)大学生を江別に注目してもらおう機会を増やし江別に定着する施策も大切だと思います。

これから江別で暮らしていくにあたってもっと暮らしやすく自分も江別市民として江別とともに生きていきたいと思っていますが、思うだけで何も行動していない状況です。

自分の経験(家事のスキル)を活かした仕事に付きたいとか子育て世代の親御さんのサポートを仕事にできるような仕組みがあればいいなとか思っています。

これから子どもがドンドン増えて子どもを育てる親御さんが働きやすい江別市になればそれを仕事にして自分もイキイキと江別市で働けるなと思っています。

高齢者は車がなくても動きやすい江別になると嬉しい。

フルタイムで働いており平日の時間が取れず、活動に参加することが難しいです。また、子ども2人が小学生のため、習い事や家族と過ごす時間確保のため、土日もあるハードルが高いです。オンラインで参加できる活動や、SNSでの告知周知募集など検討いただけますと幸いです。

江別は他の市町村に比べ、人口の変動が少ない、増えるのが理想だがこれは他の地域に比べ優位だと思う。他の市町村にあって江別ないものを増やしていけば良いと思う。

例えば市の施設として、道の駅やドッグラン。

公園の数は多いのに火は使えない。

火を起こすことは災害時、避難した公園などで子ども達が覚える事も必要、最近喫煙率が下がっているため、ライターなどの常備もない。

東北ではそういったことを目的とした公園などある。

設問とは関係ないけど…

簡単なアンケートでも良いので簡単に意見が簡単に言えるようなシステムがあれば良いと思います。

このようにインターネットを利用したの情報収集や意見交換を積極的に行うべきだと思う。

もう少しわかりやすくしてほしいです。以上。乱筆にて失礼しました。

今回、初めて、webアンケートに参加しましたので、便利な方法だと感じました。社会人だと、お家にいらっしゃる市民の方より、情報取得の時間や参加の場が限られているので、限界はあるとは思いますが、できるだけ、たくさん、色々な方法で発信して頂けると、参加意欲があるが条件都合にマッチしない方にも喜ばれると感じています。

<p>問 31 回答一覧</p>
<p>除雪が適当、雪をかくだけで持ってかないし、家の前に除雪の雪を置いていく始末。 挙句、除雪車の作業員は女に対しては(女の癖に)だとか抜かして暴言を吐く作業員。 もう2度と使わないほうがいいと思う。 あと、このアンケートは世帯主に送る物では？ 送られてきた名前が妻の名前で届いたのだが、そちらに書いてある住民票には世帯主は妻になっているのか？ しっかりしたほうがいいのでは？</p>
<p>排雪や除雪が酷いなど、問題となっている事についてしっかり議論してほしい。</p>
<p>市民の声をきちんと反映してほしい。</p>
<p>途中記入したように将来自治体という組織や名称はなくなると思われるので(PTA 活動のように)、それに伴い自治会費は住民税に組み込むか(寡婦や非課税世帯は免除など)電子マネーでの納入にするべきと思われます。以前、自治会の総会計を経験しましたが春先の週末は我が家に現金で100万円以上の会費が集まるため怖くて夜も眠れなかったのを覚えています。子育て世代は共働きが増え毎日の生活をこなすのがやっとなのでPTAにしても自治会にしてもお手伝いをする心の余裕がありません。それなのに持ち回りの自治会の役員やPTAの役員は少子化対策を謳っている時代にナンセンスとしか言いようがありません。私もやっとな手が離れた年代になり人生を振り返ったときに今もそれは思います。今回のアンケート内容とはポイントがずれていますが、若い世代であれば保育園や幼稚園学校の参観日など、また高齢者の世代であれば敬老会やパークゴルフのイベントなど、それぞれの世代が集まる場所に行き生の声を聴くのが一番と私は個人的に思います。特に若い世代はその場所に足を運ぶ時間がないと思います。</p>
<p>若い職員さんの視点を大切に。</p>
<p>以前から市民参加型の活動を行っているのかもしれませんが、現状を見ると野幌駅高架化や周辺開発を大規模に実施しましたが多くの税金をかけた事業については、成果と評価をきちんと言うことが重要だと思います。議員の見栄や数十年前の計画が現状に沿っているのか検討し実行するべきではないかと考えます。また、江別地区の人口増と共に江別駅周辺の衰退は目に余るものです。今後の開発について早急に取り組む必要があると考えます。市民参加型の街づくりは重要であると思いますが、スピード感を持った取り組みも案件によっては必要であり自治体のイニシアチブを期待します。</p>
<p>できる範囲で参加したい。特に防災、減災の対応について。</p>
<p>・幼稚園、小学校、中学校から参加案内などが家庭には届きやすいのではないのでしょうか。 子ども、孫を参加しやすいといいきっかけになるのかな？ ・8丁目統一感はレンガだけ！伊達や美瑛の様な町づくりが見られない。 スシローにいたっては通りに背中を向けている。話し合い意見交換あったのかわからない。</p>
<p>自分自身も数年前に転入してきた身なので、もっと江別に愛着をもってまちづくりに積極的に参加したいと思うが、仕事や育児でなかなかそこまで意識が回らないというのが現状です。 また、近所には同世代の世帯が少なく、親世代の世帯が多いので、同世代の交流の場や子連れで気軽に参加できるイベントなどあれば嬉しいです。 子育て支援の厚い自治体と認識しているので、子育て中の若い世代と協働する場があれば市の活性化に繋がると思います。</p>
<p>住めばいい地域ですが、PRが乏しい。札幌近郊で中心部への交通手段も充実しているが、あまり知られていないように思える。 北広島市のような新しいものを誘致する動きなども、魅力がアップするのでは。</p>

問 31 回答一覧

バスの減便で買い物や通院に困っている人たちがたくさんいます。

高齢化も進みどんどん住みにくい街になりつつあります。

目先のことだけではなく市民の声に耳を傾けてほしいと思います。

回答ID

令和6年度 自治基本条例アンケート

「江別市自治基本条例」は、市民が主役のまちづくりのための条例です。江別市が目指す、みんなで支え合う笑顔あふれるまちづくりのためにアンケートへのご協力をお願いいたします。（同封のパンフレット・リーフレットを参考に、ご回答ください。）

○回答期限：6月21日（金）までに、ポストに投函またはWEBによる回答

※回答にかかる時間は約10分です

以下の設問について、当てはまる番号に○をつけてください。

問1 あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年代をお答えください。

1. 10代～20代 2. 30代 3. 40代
4. 50代 5. 60代 6. 70代以上



問3 市民が主役のまちづくりを進めるために、市民の手で作られた、「江別市自治基本条例」を知っていますか。

1. 内容までよく知っている 2. ある程度知っている
3. 名前は聞いたことがある →1～3と答えた方は 問4へ
4. まったく知らない →4と答えた方は 問5へ

問4 問3で1～3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市自治基本条例」を何で知りましたか。（あてはまるものすべてを選んでください）

1. 広報えべつ 2. 市のホームページ 3. 市のパンフレットやリーフレット
4. 新聞 5. 情報公開コーナー 6. 知人や家族を通じて
7. その他（ ）

問5 本アンケートに同封した自治基本条例がわかるパンフレット（わたしたちがつくるえべつのまち）は、条例の内容がわかりやすく記載されていましたか。

1. 大変わかりやすい 2. わかりやすい 3. ふつう
4. わからない箇所がある 5. まったくわからない

※4、5のいずれかを答えた方、差し支えがなければ理由をお聞かせください。

[]

問6 本アンケートに同封した自治基本条例のリーフレット（主役はわたしたち！みんなで進めるきょうどうのまちづくり）は、わかりやすいと思いますか。

1. 大変わかりやすい 2. わかりやすい 3. ふつう
4. わからない箇所がある 5. まったくわからない

※4、5のいずれかを答えた方、差し支えがなければ理由をお聞かせください。

[]

◆市民参加についてお聞きします。(関係条項は8ページ*1)

問7 自治基本条例(第24条5項)に基づき、市政(市の計画など)に対して市民が主体的に参加する方法を定めた「江別市市民参加条例」を知っていますか。

1. 内容までよく知っている
2. ある程度知っている
3. 名前は聞いたことがある →1~3と答えた方は 問8へ
4. まったく知らない →4と答えた方は 問9へ

問8 問7で1~3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市市民参加条例」を何で知りましたか。(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 広報えべつ
2. 市のホームページ
3. 市のパンフレットやリーフレット
4. 新聞
5. 情報公開コーナー
6. 知人や家族を通じて
7. その他()

問9 市民参加条例では、市民が市政に参加する市民参加の方法として、以下のものを定めています。これまでに**参加したことがあるものをすべて**を選んでください。

1. 審議会などの附属機関等委員
2. 意見公募(パブリックコメント)
3. 市民説明会
4. ワークショップ
5. アンケート調査(本アンケート以外)
6. 参加したことがない

○附属機関等

・学識経験者、関係団体、市民等が、話し合いを通じて合意形成を図っていくものです。審議会、委員会、協議会などがあります。

○意見公募(パブリックコメント)

・市の重要な計画、方針等の素案を広く市民に公表し、市民から意見や情報をいただくものです。提出された意見等に対して、市の考え方を公表します。

○市民説明会

・市が事業の内容などを市民に説明して、直接意見をいただくものです。

○ワークショップ

・さまざまな立場の市民が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめていく場です。

○アンケート調査

・市民の意向を把握するために、あらかじめ用意された質問について回答してもらうものです。



問10 市民の意見を市政に反映させるには、どのような方法が有効だと思いますか。(3つまで選んでください)

1. 附属機関等
2. 意見公募(パブリックコメント)
3. 市民説明会
4. ワークショップ
5. アンケート調査
6. 手紙やメールなどで市に意見を出すこと
7. 市民参加などについて、意見交換ができる場
8. わからない
9. その他()

問11 附属機関等の公募委員や意見公募(パブリックコメント)の募集、市民説明会等の開催など、市民参加を求める際には、広く市民へ周知されていると思いますか。

1. 十分周知されている
2. 多少周知されている
3. どちらともいえない
4. あまり周知されていない
5. まったく周知されていない
6. わからない

問12 市では、問11の市民参加の情報を以下の方法などによりお知らせしています。
どこかで目にしたことがありますか。(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 広報えべつ
2. 市のホームページ
3. 市のSNS
4. 新聞
5. 情報公開コーナー
6. 市の公共施設(公民館、図書館など)
7. 見たことはない
8. その他()

問13 江別市は、市民参加の機会が十分にあると思いますか。

1. 十分ある
2. 多少ある
3. どちらともいえない
4. あまりない
5. まったくない

※差し支えがなければ、理由をお聞かせください。

()

問14 以下の市民参加は、アンケートや市民説明会などに比べ参加者が少ない状況にあります。より多くの市民に参加してもらうためには、何が必要だと思いますか。
(1つだけ選んでください)

(1) 附属機関等 ※2ページ中段の説明参照

1. 附属機関等をわかりやすい言葉で表現する
2. 開催する時間帯を工夫する
3. 参加方法をわかりやすく知らせる
4. 意見がどのように反映されるか知らせる
5. わからない
6. その他()

(2) 意見公募(パブリックコメント) ※2ページ中段の説明参照

1. 意見公募(パブリックコメント)の必要性を伝える
2. 意見の提出方法をわかりやすく説明する
3. 意見を出せる案件を増やす
4. 計画や方針の内容をわかりやすく知らせる
5. 提出した意見がどのように反映されるか知らせる
6. わからない
7. その他()

問15 8ページ(*1)にある条例第24条「市民参加の推進」の条文について、ご意見があれば記入願います。

◆市民協働についてお聞きします。(関係条項は8ページ*2)

問16 「協働」とは、市民及び市が、それぞれの役割及び責任を理解し、互いに尊重しながら協力して取り組むことです。

江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思いますか。

1. 非常に進んでいる 2. やや進んでいる方である
3. あまり進んでいない 4. 進んでいない 5. わからない
※差し支えが無ければ、理由をお聞かせください。



[]

問17 「協働」についての意識啓発が、図られていると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない
※2または3と答えた方、差し支えが無ければ理由をお聞かせ下さい。

[]

問18 これまでに、自治会や市民活動団体、ボランティアなど、まちづくり活動に参加したことがありますか。



	現在、積極的に参加している	現在、時々参加している	過去に参加したことがある	参加したことはない	活動自体を知らない
1) 自治会	1	2	3	4	5
2) 市民活動	1	2	3	4	5
3) ボランティア	1	2	3	4	5

1つでも3または4を選んだ方は(1)へ

(1) 3 または4と回答した方、現在、参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選んでください)

1. 参加したいが時間がない 2. 参加したいと思う活動がない
3. 他の人と意見が合わない 4. 家族と過ごす時間が少なくなる
5. 趣味に費やす時間が減る 6. 参加方法がわからない
7. 特に理由はない 8 その他 ()

問19 まちづくり活動に参加するにあたって何が必要だと思いますか。(3つまで選んでください)

1. 時間 2. 活動する場所 3. 健康や体力 4. 参加するための知識・技術
5. 参加するきっかけ 6. 一緒に活動する仲間 7. 家族の協力や理解
8. 活動団体や活動内容に関する情報 9. 活動に対する関心や興味
10. その他 ()

問20 問19の設問にある「2. 活動する場所」として次の施設を利用したことがありますか。

	よく利用 している	たまに 利用して いる	利用したこ とはないが今後 利用してみ たい	利用したこ とはないし今後 も利用しない
1) 公民館・住区会館 (自治会館)	1	2	3	4
2) 市民交流施設「ぷらっと」	1	2	3	4
3) 江別市社会福祉協議会	1	2	3	4

問21 広報えべつで毎月、協働のまちづくり活動を紹介していることを知っていますか。

1. 知っている →1 と答えた方は 問22へ
2. 知らない →2 と答えた方は 問23へ



問22 問21で知っているとお答えの方にお尋ねします。

活動紹介を読んで、協働の活動を身近に感じることができましたか。

1. とても感じられる 2. ある程度感じられる 3. どちらともいえない
4. あまり感じられない 5. まったく感じられない 6. わからない

※差し支えなければ、理由をお聞かせください

[]

問23 8ページ（*2）にある条例第25条「市民協働の推進」の条文について、ご意見があれば記入願います。

自治基本条例～関係条項の抜粋～

*1 市民参加について

- 第24条 市は、まちづくりへの市民参加を推進するため、制度の充実に努めるものとする。
- 2 市は、政策の立案、実施及び評価の各段階における市民参加を推進し、市民の意見が適切に反映されるよう努めなければならない。
 - 3 市は、市民参加において、性別、年齢、障がいの有無、経済状況、宗教、国籍等によって市民が不当に不利益を受けないよう配慮するものとする。
 - 4 市長等は、広く市民の意見を聴き、その意見を反映させるための仕組みづくりに努めなければならない。
 - 5 市民参加に関し必要な事項は、別に条例で定める。

*2 市民協働について

- 第25条 市民及び市は、協働のまちづくりを推進するための環境づくりに努めなければならない。
- 2 市は、市民のまちづくり活動における自主性及び自立性を尊重し、必要な制度の整備を行うものとする。
 - 3 市は、市民が協働のまちづくりに参加しないことにより、不当に不利益を受けないように配慮するものとする。
 - 4 市民協働の推進に関し必要な事項は、別に条例で定める。
- ※市民協働とは・・・市民及び市が、それぞれの役割及び責任を理解し、互いに尊重しながら協力して取り組むことをいう。

*3 情報共有について

- 第21条 市は、まちづくりに関する情報を市民と共有するため、速やかに、かつ、分かりやすく情報提供するとともに、制度及び体制の充実に努めるものとする。
- 2 市は、市民からの意見、要望、提案等に対し、速やかに、かつ、誠実に対応するとともに、市民と情報を共有するため、必要に応じてその対応状況を公表するよう努めなければならない。
 - 3 市民は、まちづくりに関する情報を共有するため、これに対する関心を高め、必要な情報の収集に努めるものとする。

*4 危機管理・防災について

- 第17条 市長等は、市民の生命、身体及び財産を保護するため、情報の収集及び提供並びに必要な対策を実行できる体制の整備に努めなければならない。
- 2 市長等は、市民の防災意識の向上を図るとともに、災害発生時に備え、市民、事業者及び関係機関との連携及び協力を図るよう努めなければならない。

*5 情報公開・個人情報保護制度について

- 第22条 市は、市民の市政に関する情報について知る権利を尊重し、市政に関する情報を公正かつ適正に公開するものとする。
- 2 情報公開に関し必要な事項は、別に条例で定める。

(個人情報の保護)

- 第23条 市は、個人情報の収集や利用、提供、管理等を適正に行うとともに、自己に係る個人情報の開示、訂正等を請求する市民に対し適切な措置を講じなければならない。
- 2 個人情報の保護に関し必要な事項は、別に条例で定める。